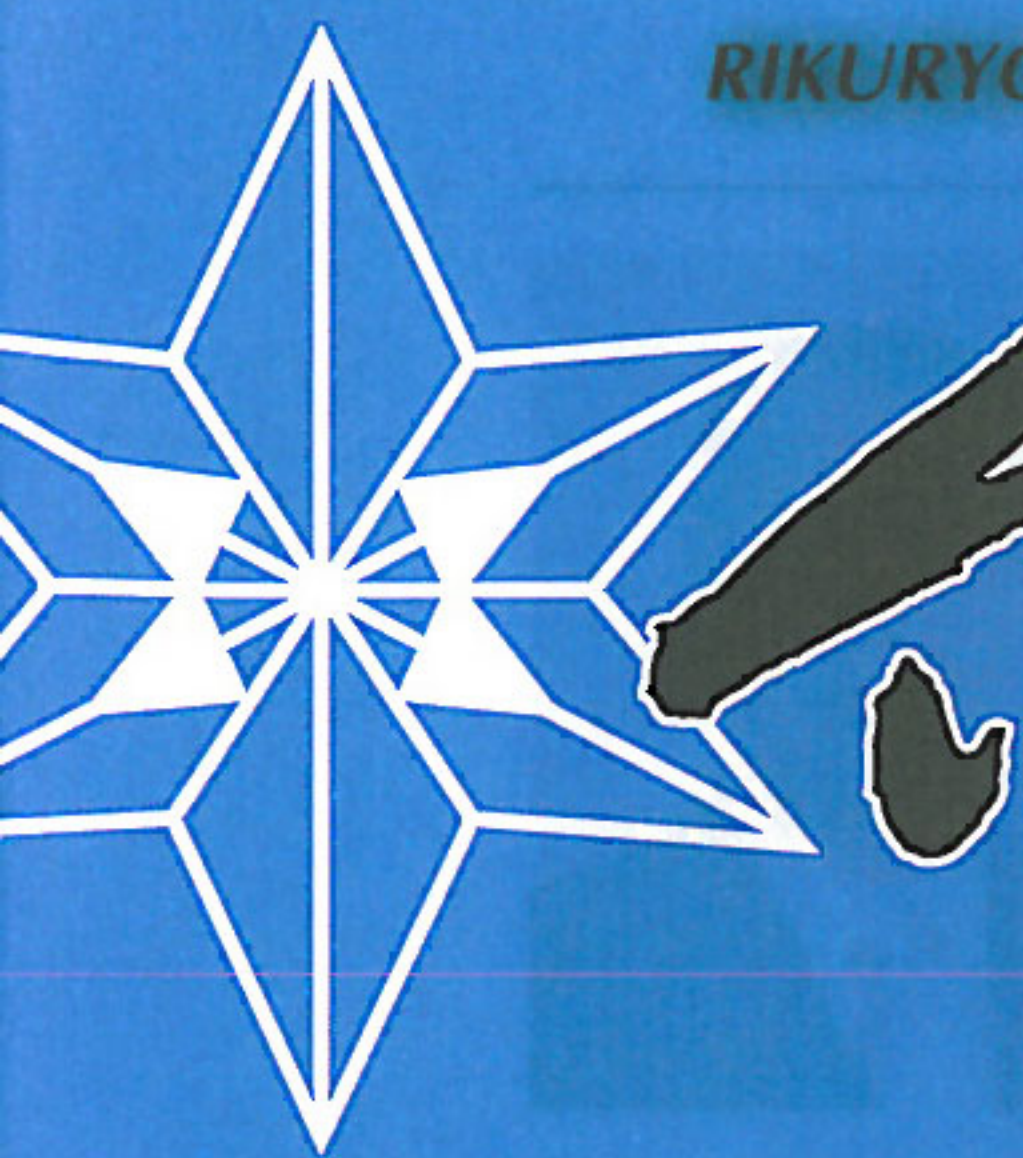




六稜舎報

CONTENTS

- 02 会長挨拶
- 03 名誉会長挨拶
- 04 136周年総会ご報告
- 07 森繁久彌さん追悼
- 10 六稜若手異業種交流会
行列の出来る就活相談所
- 12 会館催事報告
- 14 東西講演会比较
・六稜トークリレー
・東京六稜倶楽部
・六稜文庫
- 15 事務局だより
・年会費納入状況
・六稜カルチャー
・122期学年理事
- 16 修学旅行の歴史後編
- 26 母校の窓
・クラブだより
- 31 六稜短信
六稜Webリニューアル
表紙解説
- 09 Party Reports 1
パリ同期会
クラブ対抗ゴルフ
ゴルフ案内
- Party Reports 2
- 21 65期、80期
- 22 88期、92期
- 23 97期、106期
- 24 112期、114期
- 25 118期はじめての同期会

54
2010.3.1



“奇妙な1日”

六稜同窓会 会長 山本雅弘 (71期)



45期の先輩森繁久彌さんが昨年11月10日に逝去された。ボクはその日森繁さんの死を知らないまま“奇妙な1日”を体験した。

その日の夕方18時過ぎから、早稲田大学の大学院で講義をすることになっていた。政治学研究科のジャーナリズムコースで、年に1回担当している。受講者は院生だけでなく、中国からの留学生や、新聞、放送、広告代理店の若者などで構成されている。講義は1時間半だが、その後の懇談で、缶ビールを飲みながら、23時近くまで議論になるという、いささか“濃い”連中である。したがって、毎回講義内容の準備がかなり必要となる。

ボクは講義の材料を求めて、11月10日当日早めに上京し、世田谷の蘆花公園近くにある世田谷文学館に行った。目的はそこで開催中の「久世光彦展」だった。久世さんは没後3年になるが、元TBSのドラマプロデューサーで、「時間ですよ」「寺内貫太郎一家」など、テレビドラマの世界に新風を吹き込み、新たな可能性を示唆した人物だ。

その「久世光彦展」と別のフロアで「森繁久彌展」が開催されていたのである。ボクはその時、別々に展示された2人の年表から、はじめて2人の関係を知り、かつその日のボクも含めたボク自身との関わりの偶然に驚ろかざるを得なかった。

こんな具合だ。まず、久世さんは昭和10年(1935年)生まれだが、この年に森繁さんは早稲田大学の商学部に入學している。その後森繁さんはNHKアナウンサー、喜劇映画出演などを経て、昭和35年(1960年)に初プロデュース映画「地の涯に生きる」(久松静児監督)に主演。この時の北海道ロケで作詞作曲したのが「知床旅情」である。この年久世さんはTBSに入社。そして、ボクは1浪を経て大学1年生だった。60年安保の年で、6月15日に国会前のデモで東大生樺美智子さんが死んだ。その抗議デモをするために、6月17日午前0時京都発の夜行列車に乗った。20才の誕生日だった。そんなことをつつい思い出してしまった。「知床旅情」は風呂場でよく唄う、ボクのお歌のひとつだ。

昭和39年(1964年)に森繁さんはTBSで

ドラマ「7人の孫」に出演したが、この作品を久世さんが演出した。このころから、久世さんは新進の演出家として注目されはじめる。このとき森繁さんから「優秀な女流のシナリオライターがいる」といって紹介されたのが向田邦子さんで、その後彼女とのコンビでテレビドラマ史に残る名作「時間ですよ」が生れることになる。この年ボクは大学を卒業して今の会社に入社している。自分の学生時代を考えると、よくぞ入社できたものだと思う。

そんな感慨に包まれながら出口に向かうと、晩年多筆だった久世さんの本がならんでおり、その一冊を買って外に出た。週刊新潮に森繁さんが語り久世さんが書いた「大遺言書」という連載エッセイがあった。その数冊の単行本の最後の一冊で、久世さんが逝った後に出されたものだ。オビに、自分の「遺言」の筆者に先き立たれた森繁さんの想いが書かれている。「君はゆきぬ 何と悲しい 何ともかなしいことですね 悲しみはめぐわれ そうもありませぬ」

なんとなくところが揺らいだまま、その日の講義はこの世田谷文学館の話からはじめた。終わったのが19時30分過ぎ。そして聴講生のひとり、TBSの報道マンがスーッと寄ってきた。「森繁さんがなくなりました。そして市橋逮捕を御社の報道がスクープしました。」

森繁さんはその日朝逝かれていたが、公表は夜になってからだった。そして英国人女性殺害容疑者の市橋逮捕は当社の若手報道マンがスクープし、放送中のニュースワイドにスーパーしたのが19時19分で、その後を各社が追いかけた。

その夜遅くホテルに戻ると、朝日新聞の号外がフロントにあった。2つの大きな出来事がウラ、オモテで報じられていた。ボクはこの“奇妙な1日”を幾度となく反芻してなかなか寝つけなかった。

森繁さんのご冥福を心からお祈りする。

北野の水泳大会

六稜同窓会 名誉会長 八尾 隆



北野に戻って早1年。六稜同窓会総会でも少し触れましたが、北野の行事の中で、私にとって思い出深い校内水泳大会を紹介します。

大会の歴史は古く、第1回目は大正15年、大阪市立築港プールで開催。生徒だけでなく、教員だけが競う種目もいくつかありました。また、男女共学化直後の昭和30年前後は、男女別に日を分けての大会でした。

今では、タイムを競うのは男女別とはいえ、全校生徒がプールサイドに集合し、全員がいずれかの種目で泳ぎます。1日目は主に予選、2日目が決勝と、毎年盛大に開催しております。

私が着任した昭和53年の大会のこと。男子生徒の200メートル混合メドレーリレーに、教員チームも予選から参加。トップバッターの背泳は、当時既に50代、ベテランの域に達しておられた数学科の御堂岡啓先生。水上での手の動きは軽くてもスピードある無駄のない泳ぎ。次いで平泳ぎは、元箱根駅伝選手である体育科の須原浩之先生。バタフライは上半身が水上に飛び出さんばかりの飛び魚のような力強い泳ぎの体育科の松下勇先生。ラストの自由形は、元水泳の国体選手と聞く国語科の故田上泰昭先生。元気溢れる生徒たちの3倍近い年齢集団にもかかわらず、教員チームは見事な泳ぎで堂々と決勝進出を果たされました。

水泳大会の締めくくりは、現在と同じく男女別学年対抗リレー。男子は20名、女子は10名からなる精鋭チームによるレース。さすがに体力も人数も男子レースでは太刀打ちできないものの、女子レースに男子教員10人がチームを作って参加するのが恒例でした。

着任間もない頃のこと、体育科の先生方から「八尾君、泳げる？ 水泳大会では、新着任の先生、皆泳がれるよ。」とのお誘い。運動の苦手な私が返答に躊躇していると、近くにおられた数学科の大先輩、故菊川暎人先生が「大丈夫。僕は昔、横泳ぎで泳いだよ。生徒と一緒に泳ぐことに意義がある。」と追い打ち。平泳ぎしかできない私でしたが、生徒たちを喜ばせるのであればと、詳細も知らず泳ぐことを安請け合い。

後日真相を聞いて仰天。北野のプールは府下でも珍しい50メートル。プールサイドに全校生徒

が一堂に会する文字通りの大会。しかも、プログラムの最後を飾る学年対抗リレーで職員チームの一員として泳ぐと知ったのです。

これは大変と、7月、生徒たちがプールから去った後、一人密かにクロールの練習に挑戦。その様子を体育科の故稲葉憲一郎先生に見つかり、「八尾君、良い心がけだね。私が見てあげよう。」とアドバイス。

おかげで何とか息継ぎができるようになり、かろうじて50メートルを泳ぎ切るまでに進歩。

本番当日は、私を筆頭に最初に泳ぐ若手教員が足を引っ張るレース展開。しかし後半になって、先ほど紹介したようなベテランの先生方が俄然追いつき、最後には熾烈な順位争いという見事なレース展開になったのでした。

やがて教員構成も徐々に変化。教員チームは参加するものの、若い生徒たちに歯が立たず大差をつけられる状況が続くようになりました。

北野に戻ってきたとき、水泳大会にはここ数年教員チームの参加がないと聞き、一抹の寂しさを感じておりました。ところが、昨年9月の大会には、先生方が若手を中心に久しぶりにチームを作って参加。生徒としてのぎを削る素晴らしい展開に生徒たちからも大声援。大会の締めくくりを大いに盛り上げてくれました。

生徒だけでなく教員にとっても北野は、一生懸命やれば力をつけてくれる伝統ある学校です。勉強もクラブ活動も、何事もとにかく熱心に続けよう、続けられればそれなりに成果が伴うと、身を持って体感したおかげで、私は生徒たちに六稜魂の一端を伝えることができました。

現在の先生方も、この意気込みで北野を更に発展させるべく努力しています。

会員皆様方の暖かいご支援を引き続きお願いし、ごあいさつとさせていただきます。

六稜同窓会136周年総会のご報告

橋本昭子、尾辻かおる、小糸 恵、杉本里栄（90期）



六稜同窓会136周年総会は、新型インフルエンザが猛威を振るう中、開催が懸念されていましたが、10月25日（日）に母校北野高校多目的ホールおよび六稜会館において無事開催されました。当日は天気にも恵まれ、48期から今年会員となった121期まで出席者は233名となりました。今年度は、90期（昭和53年卒）が当番期として94名が参加し、受付・設営・警備案内・司会・記録などにあたり、諸先輩から引き継がれた伝統に、90期独自の工夫を織り交ぜ運営いたしました。

【第一部 総会】

13時からの総会に先立ち12時45分より、2009年府大会で銀賞に輝いた在校生・吹奏楽部による記念演奏がありました。演奏しながら順番に立ち上がりたり楽器を左右に動かしたりのパフォーマンスも楽しい「ディズニー名曲メドレー」



を皮切りに、前日の体育大会入場行進でも演奏した「ボギー大佐」他2曲、壮大な「天地人・オープニングテーマ」に至るまで、若さ溢れる生き生きとした演奏に何十歳も年の離れた大先輩たちも熱心に聞き入っていました。

総会では、司会を務める富田昌宏総務委員長（78期）により開会の辞が述べられた後、まず山本雅弘同窓会会長（71期）のご挨拶があり、「開かれた同窓会」に向けてのトークリレーの盛況ぶり、また同窓生の縦の流れ・横の流れをつなぐために創られたFR委員会（FR=フレッシュ六稜）という若手交流会の活動などについてお話いただきました。

次に、4月に校長に着任された新名誉会長・八尾隆校長のご挨拶がありました。八尾校長は北野高校で17年間数学科教師として教鞭を執られており、新任の頃の水泳大会で職員チームの選手に選ばれたため放課後こっそり練習していたところ体育の稲葉憲一郎先生に見つかり鍛えていただいたという会場の笑いを誘うエピソードなどを交え、体育大会はじめ北野高校の伝統と近況についてのお話をいただきました。また、北野高校が進学指導特色校に指定されたことを受け、学業は言うまでもなくクラブ活動等、何事においても頑張る、努力する人間を育てる学校にしていきたいとの抱負を述べられました。



引き続き、同窓会の活動報告が行われました。まず木村市三事務局長（73期）より90歳以上の会員の会費免除決定等についての報告、次に千種康一広報委員長（88期）より六稜ウェブ（ホームページ）改編についての詳しい説明がありました。開設から既に12年経つことから、情報をより早く利用しやすいページで提供できるようシステム内容を見直し、2010年3月1日リニューアル予定とのことです。

続いて、総会の担当学年90期の大西博昭学年理事の司会で京都大学防災研究所教授・中北英一氏（90期）による「ほんとに怖いゲリラ豪雨」についての卓話がありました。中北氏は2009年6月に放映されたNHK「ためしてガッテン」のゲリラ豪雨特集にも出演されましたが、専門的な内容を写真や図を用いながら分かりやすく話していただきました（卓話の内容は別掲）。皆にとって身近な内容だけに卓話のあとの質疑応答も活発に行われました。

90期の金田美可さんより花束贈呈の後、14時45分に第一部を終了しました。

【第二部 懇親会】

懇親会および121期歓迎会が六稜会館3階ホールに場を移して行われました。多くの方の参加により、盛会となりました。司会は90期の田中康夫さんと真常美紀さんです。



初めに、今年めでたく卒寿を迎えられた阿部源三郎さん（50期）にご挨拶と乾杯の御発声进行いただき、歓談となりました。

世代を超えた交流が和やかに行われる中、コーラス部OB坂口和彦さん（90期）・敏子さん（98期）夫妻が所属されるアカペラコーラスグループ「カレイドスコープ」4名の皆さんによる美しいハーモニーが披露されました。曲名は「トゥナイト」「アラジンのテーマ、ホールニューワールド」等、全3曲。ドラマティックで素敵な歌声に会場一同、魅了されました。



次に、新会員となった121期4名の方の紹介があり、代表して兼安華那さんにご挨拶され、会場から歓迎の大きな拍手が送られました。

その後、いよいよお楽しみ大福引き会となりました。今年も1等3万円の商品券をはじめ六稜Tシャツ等豪華賞品が準備されました。また、参加賞として六稜校章付チョコレートが皆さんに出ました。抽選箱から次々とカードが引かれ、当選番号が発表されるたびにあちこちから歓声があがりました。大先輩方に交じって121期の新会員の方の当選もあり、たいへん盛り上がりしました。

懇親会も終盤となり、次回当番期91期の皆さんが登壇され、代表の中松篤志さんが来年度への意気込みを語られました。そして、応援部OB増田昭雄さん（90期）の凛々しい学生服姿のリードにより校歌「六稜の星のしるしを」を全員で声高らかに斉唱し、エールを行いました。副会長の志甫溥さん（66期）の閉会の辞をもって、めでたくお開きとなりました。

●六稜同窓会 136 周年総会

【中北英一氏の卓話】

「ほんとに怖い“ゲリラ豪雨”

なぜ？ そして、どうするの？」



平成 20 年、神戸の都賀川（7 月 28 日）、東京・雑司ヶ谷（8 月 5 日）でゲリラ豪雨による災害が起きました。そこには、予想を遥かに超えた急激な出水、人が水流のそばにいたという共通点があります。ゲリラ豪雨も通常の集中豪雨も積乱雲（入道雲）によってもたらされます。ゲリラ豪雨の場合、積乱雲が突然発生し、しかも急激に発達するので気づきにくく、気象レーダーでも予測が難しいのです。加えて、都賀川のような小さな河川流域では降雨後 10 分程度で急激に出水しますし、レーダー画像が防災関連官署や一般に配信されるまでには 10 分弱を要しますので、レーダー画像が配信されたのは出水直前か直後ということになります。防災関係者は、5 分でも 10 分でも早い避難情報の重要性を愕然と気づかされました。豪雨のより早い探知や予測が希求されるところです。

通常、気象レーダーは低い高度で雨を探知していますが、これでは上空にのみ発生する「ゲリラ豪雨のタマゴ」（高度 5 ～ 7 キロで生成されるミリ単位の降水粒子）を見逃してしまいます。

ところが、7.5 分に 1 回の頻度で上空も立体的に観測している国土交通省の特別なレーダー観測情報を解析すると、急激な出水の約 30 分前に、約 10km 西方の 7km 上空にゲリラ豪雨のタマゴが捉えられていました。これは、高頻度の立体観測を標準観測にすれば通常より早期探知ができる大きな可能性を示しています。

国土交通省は、より高い感度、密な時間・空間間隔で立体観測できる最先端の小型レーダー網を、次年度に近畿・中部・関東の三大都市圏に導入し、ピンポイントで正確な降雨量を観測するとともに、早期に「タマゴ」を探知し、2 分以下の短時間で情報提供できるよう動き出しました。

しかし、自分で判断し、早期避難することに勝

る対処方法はありません。そのためにはゲリラ豪雨は突然やってくる、周囲が真っ黒になってきたりゴロゴロときたら間もなくドサーっとくる、小さな河川では突然出水することがある、水の流れには想像外の威力があるという認識のもと、危険を感じる力を養うことが大切なのだと思います。

さて、気候変動によって豪雨は増えるのでしょうか？ 気温が上昇すると空気中に含まれる水蒸気が増え、雲や降雨量は増えます。水蒸気は二酸化炭素より強烈な温室効果ガスですが、雲や地球表面の雪や氷は太陽エネルギーを反射して寒冷化させます。予測には水物質の扱いが大切です。

その中、気候モデルによって全地球を非常に細かく 30 年、100 年先の予測・推測ができるようになってきています。1 時間雨量が西日本で増えることや、経験したことのない強度・総雨量を持つスーパー台風が来ることが予想されています。もちろん不確実性はありますが、それでも気象の物理をベースに算定されたこれら将来の答えを信じるか、信じないかが今問われています。

《卓話後の質疑応答から》

Q 今、ダムがホットな話題になっているが効果的な防災とは？／A ハードとソフト両面あるが、現況のダムの場合はまず、治水用、利水用という利用の目的や放流操作のしかた等を大幅に変えるなど、いろいろなことを考えていく必要がある。

Q ゲリラ豪雨や集中豪雨、将来の気象変化などの研究の費用対効果について／A 災害関連には限定的な意味での費用対効果は適さない。1 人、2 人であっても人命の重みといった違う指標も入れるのが大切であり、たとえ大規模災害ではなくてもゲリラ豪雨も含む集中豪雨災害を、やはり侮ってはいけない大事なものと考えている。しかし、質問も肝に銘じてさらに考えていきたい。

Q 大気の安定状態も予報に入れるべきでは？／A 既に入っているが、「不安定で、ところどころ雷雨」などと表現されるため人ごとのように聞こえてしまう実情がある。一般の方にわかりやすい予報文を考える会が気象庁で最近立ち上げられた。

【中北英一さんのプロフィール】

北野高校 90 期。京都大学工学部土木工学科卒、同大学院工学研究科土木工学専攻修士課程修了。京都大学防災研究所助手、助教授、工学研究科助教授を経て、現在は京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門教授。この間、アイオワ大学客員助教授、国立シンガポール大学客員研究教授を併任する。工学博士。専門はレーダー水文学（すいもんがく）、水文気象工学。レーダーを用いた豪雨、洪水予測に長年携わるとともに、現在は気候変動による国内外の災害環境への影響評価も実施している。また、ハリケーン・カトリナ等の国内外の災害調査にも従事。ちなみに、水文学とは天文学、地文学と並ぶ言葉で、水の循環を扱う学問分野である。

森繁久彌さん追悼 『言うなかれ、君よ、別れを』

六稜同窓会 副会長 志 甫 溥（66期）

森繁さんに北野で会ったことがある、まだひげがない、もちろん白髪でもない森繁さんに。昔のことはあやふやだが、多分、昭和二七年、ぼくらが北野の二年生の夕方だったと思う。文化祭の準備をして、帰りかけていた演劇部のぼくらのところに、先生がひとりあらわれて、森繁さんが学校にきておられるが、生徒の君らが話を聞いたらどうか、というお話で、ごく少人数だったが、すぐにそれまで入ったことのない応接室のような部屋にいくと、森繁さんの向かい側にのちの校長になられた藤井通雄先生（あとで聞いたが森繁さんの同期）がおられた。かしこまって、椅子にすわったぼくらの前で、森繁さんは語った。

奔流のようなことばの連続だった。そのころは、さまざま苦勞をかさねられたあと、NHK ラジオの「愉快的仲間」で藤山一郎の相手役に抜擢され、人気が始めていた。ぼくらはラジオ（テレビはまだない）を聞いて大先輩森繁さんをよく知っていた。ファンだった。森繁さんははぎれよく語り続けた。高校生になってはじめて大阪にきたぼくは、そのすぐそばでナマで聞くひさびさの東京弁のテンポにしばれていて、ご自分のそれまでとこれからの話が途切れなく力強く続いた。ひとつだけ。こういう舞台を自分はやりたい、という長い話の最後のあたりで自分のセリフと所作にすっかりひきこまれ酔いしれている観客のまえに自分は静かにたって（と、小さくかがむように座っていた椅子から実際にそうっとたちあがって）「ぼくは、聞こえないほどのちいさな声で「みなさん」と呼びかけるんだ、静まりかえった劇場内で、その小さな声が、満員のお客全部にしみわたる。ぼくはそんな場面を作ってみせる」そして森繁さんは笑顔に戻った。大スターになり、年をとった森繁さんは、おだやかで洒脱で暖かいイメージ

を持たれていると思うが、その時に会った四十歳手前の森繁さんは、ギラギラとした、いずれ舞台、映像の世界を制覇する俳優になろうという野望むきだだったと、背中のふるえる思いとその鋭い眼差しに突き刺されて、動くことを忘れた高校二年生だった。

何十年かたって、私は放送局に勤めていたが、森繁さんと接する機会はずっとなかった。

演出家・作家の久世光彦は遠縁にあたり、森繁さんの「七人の孫」で、演出家のスタートをきって以来、森繁さんは久世のいわばお師匠さんだったのではないかと。久世は、平成十四年から、森繁さんのお宅に通って、じっくりと聞いた話をもとに週刊新潮に「大遺言書」をつむぎ、どっちかが死ぬまで続けるという約束で連載していた。北野の昭和校舎建て替えにあたって、正面玄関や講堂のあたりのレンガをもとに記念品が作られたのをみなさんご存じと思うが、ぼくは、そのひとつを久世に託して森繁さんにわたしてもらった。森繁さんは昭和校舎に通うことはなかったそうだが、久世は「森繁久彌・十三歳」と題して、その北野中学の思い出を見事に綴った。そのレンガに北野のすべての思い出をこめるかのように撫でさすった、と描いている。

何回か、森繁さんは母校を訪れて、講演もされ



たときいているが、ぼくが北野でお会いしたのは、先述した一度だけ。校舎改築の第一期工事が完了した平成十三年の六月に、職員室や多目的ホールに生まれ変わった講堂などできあがった新しい母校を当時教頭の鎌田先生に車椅子で押されて（まだひとりで立ちあがって歩くこともできたころだったが）みてまわる光景をDVDで見ると、ほほえましい。同期の森島さんらがつきそって往時の話がつきない。当然生徒達が集まってきたが、女生徒たちには、懇ろに握手を交わし、男生徒には…という新たな伝説をまたひとつ生んで、森繁さんは笑顔で手を握って去っていく。

とうとうチャンスが来た。久世が芸術選奨をうけた御祝いのパーティーだったと思うが、そのパーティーの主宰者側のぼくは短いスピーチをして、北野で若い森繁さんにお会いした話をご本人の前ですることができた。

久世は平成十八年春浅いころ急逝した。老いて、車椅子ののりおりにも二、三人の手が必要となっていた森繁さんは、通夜で、時間をかけてマイクの前に杖によりかかるように遺体にむきあった。

「久世よお…」もう一言うめくように叫んだ森繁さんのことばは、すぐそばにいたぼくにもはっきりとは聞き取れなかったがその壮烈なよびかけは、「大遺言書」を閉じるにあたって、久世光彦・法名釋顕光を送るにもっともふさわしいことばだったに違いない。この葬儀を最後に、森繁さんは人前にでられることはなかったといわれる。

巨人、森繁久彌さんは、九六歳の大往生をとげられた。

六稜同窓会の一員として、葬儀に参列した。清楚な花に埋もれ、天皇陛下の立て札の後ろに立てられた明るい色調の写真の森繁さんはおだやかに微笑っておられた。

昔、政治記者をしていたぼくは不思議な風習を感じたことがある。どんなに若い記者でも、仲間うちではもとの宰相であっても政治家はみな名字をよびすてにする。しかし、ごくごくまれに、～さんと必ずさんづけでよばれる政治家がいた。ぼくは、その政治家に人間としてのよき品格がそなわっていたからだと思う。

芸能界では、姓名を続けてよびすてが普通のようなだが、森繁久彌は、しげさんとかいろいろ呼ばれ方があったけれども、自分の知る限り、みな自然に「森繁さん」といっている。世の人は国民的大スターだからということだけではなく、森繁久

彌さんがそなえた人間としての徳と品格に親しみと敬意をもつのだろう。

葬儀の参列者はみな静かに、写真の前に進み、香を森繁さんにたむけた。

「知床旅情」も「銀座の雀」ももちろんあるが、森繁さんが詠む『言うなかれ、君よ、別れを／世の常を、また生き死にを』ではじまる大木惇夫の詩、「戦友別杯の歌」が、聞かたびにずっしりと胸にせまる。

こよなく北野を愛した森繁さん、ありがとうございました。

（〇九年十二月）

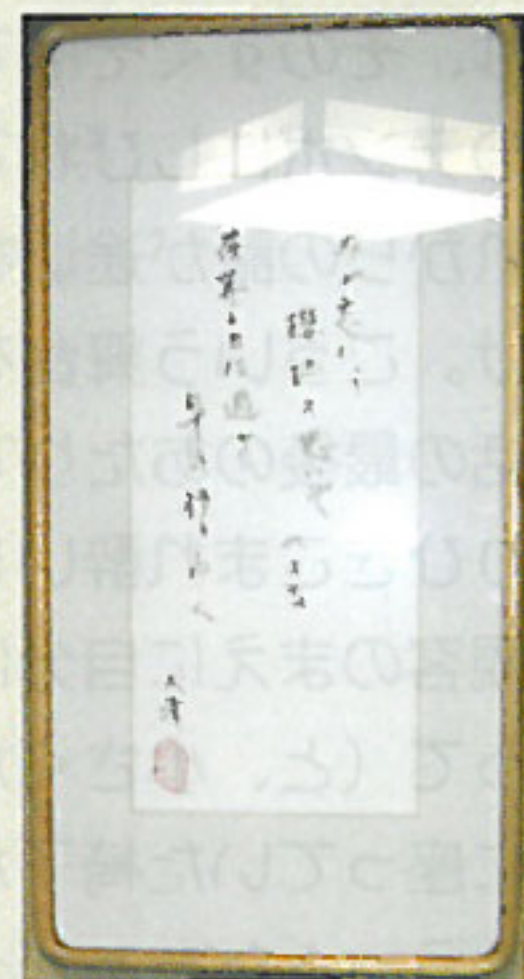
友情は永遠に

「芝田町から十三へ」の取材で45期の森島重勝さん宅を、広報委員会で訪問しました。同期の森繁さんのご逝去から1ヶ月の時期で、一緒に訪問した稲本満寿雄さん（54期）、尼崎孝雄さん（58期）、神畠 稔さん（60期）とも在りし日の森繁さんをしのぶ会となりました。

北野中学時代から反骨精神にあふれる森繁さんは、教卓の上でキングコングを演じる茶目っ気もあり、また、他校女学生を追いかけて停学になったとかならなかったとか…たくさんのエピソードが、昨日のことのようにいきいきと語られます。

10年余り前に森繁さんが当時の恋心を詠まれた歌を、紹介していただきました。「僕たちの青春の宝物」と少しはにかんでいらした森島さん。森繁さんと森島さんの交友は、これからもずっと変わらず続くのだと、強く感じました。

—「芝田町から十三へ」は、次号特集予定です。—



Party Reports 1

●パリでたった3人の六稜同窓会

勝村 義和 (71期)



2009年の10月29日、パリで世代を超えた3人の六稜同窓会を開いてきました。

パリ在住の107期の中村(旧姓、森山)未央さん(1才の仁香ちゃんも一緒に)、112期の北岡和子さん、それに、ずっと遡って71期の勝村義和(旅行中)。

メトロ・CAMBURENNEのコルシカ料理のレストラン「LA VILLA CORSE」に、お昼に集まりました。中村さんはフランス資生堂駐在勤務、北岡さんは、1月から美容のヘアーメイクMaquilleuseの修業中、わたしは佐伯祐三の絵のおっかけ中。ひょっとしたら、これが初めてのPARIS六稜同窓会かもしれないねと言ってコルシカ産の口ゼで乾杯。

中村さんの育児やご主人とのコルシカ旅行の話、北岡さんの肝っ玉娘のパリ修業の話、いやあ、現代の若い女性は進んでいるなと感心するばかり。栗のスープ、タラのジロールソース、ホロホロ鳥のひなの料理を食べながら、北野の食堂で食べた「やきめし」「オムライス」が懐かしいと、おっしゃる。仁香ちゃんも「わたしも話に加わりたい」とフランス語か日本語でむずかる。わたしは何か、娘2人と同窓会している異邦人の感じ。

パリには探せばもっと同窓生がいるだろうな。今度は10人ぐらい集めてやろうねと結束。旅先の同窓会は心強く、面白かった。

●第21回六稜クラブ対抗ゴルフコンペ

卓球部 中松 篤志 (91期)

平成21年10月4日(日)、恒例の第21回六稜クラブ対抗ゴルフコンペが、前回優勝のバレーボール部の幹事のもと三田カントリー27でとりおこなわれました。

参加クラブは、野球部(9名)・ラグビー部(5名)・バレーボール部(7名)・卓球部(8名)・混成チーム(10名)で、5クラブ・39名の参加者がすばらしい秋晴れの中、楽しくプレーをおこないました。

優勝は混成チーム、準優勝が卓球部、3位がバレーボール部でしたが、ルールにより準優勝の卓球部が繰り上げ優勝となりました。新ペリア方式による個人戦の優勝は、坂平秀雄さん(野球・89期)が、準優勝は若林成一さん(混成・84期)が獲得されました。また、ベストグロスは、竹村哲也さん(野球・88期)の81(個人戦では15位)でした。

私は、このコンペに参加して10年ほどになります。まだまだ上位5名のポイントゲッターには程遠い内容ですが、逆にこのルールのおかげで気楽に参加させていただいております。また、高校時代にはさまざまな分野に分かれて活躍していた人たちが、同じ舞台同じルールの下で競技をするというおもしろさにひかれ、毎回参加を楽しみにしております。対抗という名は付いていますが、競技中は和気藹々としています。どうぞお気軽にご参加下さい。

次回は平成22年10月3日(日)三田カントリー27にておこなわれます。



今年の期別対抗ゴルフコンペのお知らせ

第21回六稜期別対抗ゴルフコンペは
2010年7月25日(日)
三田カントリー27で開催予定です。

今年のクラブ対抗ゴルフコンペのお知らせ

第22回六稜クラブ対抗ゴルフコンペは
2010年10月3日(日)
三田カントリー27で開催予定です。

11/14 (土) FR委員会スペシャルイベント 「行列のできる就活相談所2009&六稜若手異業種交流会」報告

今年で3回目となる「行列のできる就活相談所」に、新たな「六稜若手異業種交流会」を追加したイベントが11月14日に六稜会館と北野高校多目的ホールで行われました。

【六稜若手異業種交流会】

13:00～15:00@六稜会館3階ホール

100期～117期までの社会人および内定者54人が集まりました。最初に、六稜同窓会会長の山本雅弘氏(71期)に「異業種の方から得られたもの」という講演をしていただきました。その後、参加者同士で自由に交流をしていただきました。普段の生活では、中々他の業種の方と話す機会がない社会人ですが、年齢の近い同窓生の集まりで気軽に話せるよい機会となったようです。

【行列のできる就活相談所2009】

13:30～15:00@北野高校多目的ホール

3回目の今回は、「ワタシの働く価値観」というテーマで3人の社会人の方(早川慶朗氏、水田芳裕氏、石川友加里さん、いずれも113期)にパネルディスカッションをしていただきました。就職活動中の学生65人が集まり、先輩の話に聞き入っていました。他の就職イベントでは聞けないような話まで飛び出し、とても有意義な時間となりました。

【六稜若手社会人&就活生交流会】

15:00～17:00@六稜会館3階ホール

その後、社会人と就職活動中の学生が合流し、様々な分野の社会人に学生が直接質問をぶつけることのできる場を用意しました。学生からは、普段の説明会では聞けないようなことも気軽に質問ができた！との声を聞きました。また、社会人からは、今の学生はよく考えている！の感心の声も上がりました。終了時刻の17時になっても、会場の六稜会館3階は熱気に満ち溢れていました。

【参加者からの声】

異業種交流会に参加して

105期 清水 憲明

家業の設備工事業を継承すべく10年勤めた某ゼネコンを退職し大阪に戻ってきましたが、交友関係、営業展開とも行き詰まりを感じていました。そんな中偶然見かけた交流会の案内。今後の営業活動にプラスになればと気軽に参加を申し込みました。

第1部の異業種交流会は同窓会会長の山本氏の講話から始まりました。限られた時間でしたが時事の話題を取り混ぜた仕事に取り組む姿勢、心構えなど大変に貴重なお話をいただきました。引き続き参加者での座談会でしたが、皆さん第一線で活躍される方々ばかりで圧倒され続けでした。

その後、活生を交え相談会となりましたが、果たして自分は当時これほど熱心に活動していたのか恥ずかしくなるほど、就活生の皆さんの積極的な姿勢が眩しく、こちらも出来る限りの話をさせていただきました。本当に皆さんのためになったかどうか自信はありませんが…。最後は会場を移

し、懇親会にて閉会となりました。

初参加でしたが、皆さん暖かく迎え入れて頂き、同窓生との絆を改めて実感しました。また会の運営に携わられたFR委員の皆様に感謝いたします。

働く理由を考える

118期 磯貝 洋之

皆さんはなぜ働くのでしょうか。生きるため、社会貢献のため、もしくは自己実現のため。このように、この質問に対しては、100人いれば、100通りの回答が存在するでしょう。つまるところ、数学のように、ひとつ決まった正解は存在しないのです。また、一見容易に見えるこの質問は、実は皆さんにとって、最も答えにくい質問の一つであるように思います。しかし、これから社会の一員となる私たちにとって、この回答を導き出すことは、必要不可欠な作業であることに違いありません。

今回のパネルディスカッションのテーマは「ワタシの働く価値観」。このテーマの前提となるの



はやはり、「なぜ働くのか？」という問いであると言えます。今回パネラーとして参加いただいた石川さん、早

川さん、水田さんの先輩方はそれぞれ、食品業界、インフラ業界、マスコミ業界と、ご活躍されているフィールドは全く異なっています。さらに、就職活動のスタイルもそれぞれ異なっているため、表面的には共通点が見当たりません。しかし、先輩方は現在の仕事にやりがいを感じておられる点で共通しています。それではなぜ、全く環境の異なった先輩方が共通して仕事にやりがいを感じているのでしょうか。その理由は、「なぜ働くのか？」という問いに対する回答を見つけたからだと言えます。働くことについて深く追究することによって、自らの価値観や軸を明確にすることができる。価値観や軸が明確だからこそ、たとえ希望以外の仕事に就いたとしても、やりがいを感じながら仕事ができる。先輩方はこうお話しになりました。

私は、今回のパネルディスカッションを受け、どの企業セミナーよりも充実した内容であると感じました。「なぜ働くのか?」。この答えを探す素晴らしい契機となりました。また、さまざまな分野でご活躍中の先輩方との繋がりを多く持てたことは私にとって、何よりも財産となりました。

最後になりましたが、今回の「行列のできる就活相談所 2009」を企画、運営して下さった六稜同窓会 FR 委員会スタッフの方々、また、ご多忙の中、お集まりいただいた先輩方にこの場をお借りしてお礼申し上げます。

就職活動前のきっかけになった

119 期 小守 亜衣

まだ大学二年生であり就活も始めていない私が今回のイベントに参加した動機というのは、堅苦しい（というイメージがある）企業の説明会に行き、本格的な就活を始める前に就職というものの実体を知りたいと思ったからでした。マニュアル本などではなく社会人の生の声を聞きたいと思いつつも、周りに話を聞かせてくれるような社会人もおらず、何もわからないまま就活に臨むのかと思っていたところにイベント参加のお誘いをいただきました。結論から言ってしまうのですが、この

イベントに参加して損はありません。

一部のパネルディスカッション。実のところ私が希望する業界の方がいないこともありあまり期待していなかったのですが…見事に予想は裏切られました。御自分の就活体験談から何故就職するのかという人に訊きづらい・しかしなかなか学生の内に答えにたどり着けない内容まで、しっかりとかつ楽しいトークで働く方々の生の声というものを聞かせていただきました。実態を知らない大学生には決して語れぬ社会人目線の話、企業説明会では聞けないであろう働くことの負の部分にまで触れたことは、今後就職をして社会人となっていく上で大いに役立つと思います。

二部の社会人・就活生交流会。これは正に私が望んでいたものでした。様々な業界の方とこんな風に話す機会自体なかなかありませんし、その上とても親切に受け答えしてくださるなんて、普通にただ就活をしていたら経験できないと思います。自分の希望する業界の方と一対一で会話をすることは、面接のようではじめ緊張してしまいましたが、話をきき、御自分のしている仕事を話すときの楽しそうな顔を見ているうちにこちらまで楽しくなり時間を忘れるほどでした。社会人の方から見れば不躰な質問もあったでしょうに懇切丁寧に答えてくださる、これは同じ高校の後輩の特権かもしれません。今回は用事があって途中で帰らなければならぬことが残念でなりませんでした…。

今回このイベントに参加したことで私は就職というものの実態を少しつかめたような気がします。これは今後の就活の為にも、人生勉強という意味でも参加した甲斐があったと思える充実した時間を過ごせた素晴らしいイベントでした。



好評につき、今後定期的に若手異業種交流会を開催することを予定しております。

【第2回六稜若手異業種交流会】案内

日 時：5 月 22 日（土）午後

対 象：100 期～122 期

会 場：六稜会館 3 階ホール

主 催：FR 委員会

※詳細が決まり次第、六稜 WEB に告知します。

（文責・113 期 尾崎有紀）

平成21年度 会館催事委員会活動報告

会館催事委員長 徳岡 浩二 (92期)

今や六稜会館の主な活動のひとつとなった六稜トークリレーは、毎月原則的に第一または第二土曜日に開催され、昨年11月で70回となりました。新たな伝統となりつつある本事業をさらに継続発展させるため、平成21年度の運営方針として以下の4点の活性化案を挙げました。

1. 同期会と同窓会との連携強化

トークリレー講師の同期の方々に参加呼びかけを行い、同期会のきっかけをつくる。

2. 東京六稜クラブとの相互協力

東京六稜クラブ招待された卓話講師を大阪に招聘する。

3. 学校との連携強化

学校内へのイベント案内ポスターによる広報（現役生による春・秋の演奏会を共催）

4. 継承のための新規企画

展覧会（戦争関連写真展）などの同時開催

4月にはさっそく学校との連携強化として吹奏楽部による春の演奏会が行われました。曲は「君の瞳に恋してる」NHK大河ドラマ「天地人」他、アンコールには「鉄腕アトム」が演奏され、年齢差を超えて先輩後輩が一体感のある交流のひとつを過ごしました。当日講師を務めた新保義剛さん（87期）による「水資源の確保と食糧問題」のお話には、平和の尊さを実感させられることとなりました。

5月は「21世紀の大阪の街づくり」をテーマに多田宏行さん（78期）に講演していただきました。大阪は東京の真似をせず独自性を生かすべき、キタ・ミナミの2核を中心に都市居住をしながら食を楽しみ、文化・芸術に親しめる場づくりが大切だという夢



吹奏楽部の演奏

のある内容でした。難波宮や歴史的建造物を復元して歴史の感じられる街にするべきだという熱弁には、おおいに納得させられました。

6月は、現役ラグビー部を応援する特別企画として「文武両道～北野ラグビーで培ったもの」を開催しました。三好郁朗さん（70期／京都大学フランス文学）下平憲義さん（90期／現役時代は高校ジャパン選抜でオーストラリア遠征、京大、神戸製鋼で活躍）牟田至さん（102期／関西学院大学ラグビー部監督として51年ぶりに関西大学リーグ優勝へ導く）から自らの体験を通じたラグビーのすばらしさが語られた後、橋下徹さん（100



ラグビー部の記事

期／大阪府知事）廣瀬俊朗さん（112期／東芝府中ブレイブルーバス キャプテン）からのビデオレターが放映されました。新聞各紙には「あれほどしんどい練習は社会人になってもない。良い経験をし、忍耐力がついた」という知事の言葉が、爽やかな笑顔とともに報じられました。

7月は「妖怪とSFと小説と」というテーマで92期の林巧さんが講演されました。高校時代に脚本を手掛けた演劇のテープも流され、久しぶりに集まった同期の方々との思い出話に花が咲きました。

8月は「針目に込めた女たちの哀しみ」と題した森南海子さん（64期）の講演とともに1階ホールで千人針の展示会を開催しました。沖縄県の読谷村立歴史民族資料館所蔵から59点にもおよぶ千人針をお借りし、実物を展示できたことは本当に意義あることであったと思います。講演には300人を超える来場者で超満員になり、翌日は休日にもかかわらず100人以上の方々が千人針に触れ、不戦への思いを語り合いました。

9月には釜江尚彦さん（69期）による「アナログからデジタルへ」。時空を超えて行き交う情報を支える技術とその発展の可能性、情報処理における様々な社会問題についてわかりやすく解説されました。

10月の講師、飯田精三さん（79期）によるトークリレーは、現役オーケストラ部との共演でスタートしました。演奏後のお話「チェロと建築～私のルーツ、北野」では、オーケストラ部での思い出、チェロとの不思議な縁、そして建築家としての仕事へと楽しく展開し、文化的で格調高い盛りだくさんな内容でした。

記念すべき70回目のトークリレーとなった11月は、偶然にも70期の清野佳紀さんから、現代社会問題となっている「医療崩壊の真相」についてご講演いただきました。大阪厚生年金病院院長として、女性の医師、職員が働く環境を改革することにより病院全体のワークバランスを整え、さらにグループ診療や、産科における地域開業医との連携強化などを通じ、前向きに医療の危機を打開すべく努力されておられる姿は感動的でした。

医療界のあるべき方向性を示され、現状を嘆くだけではなく、元気を出して一つ一つ問題に取り組むことの大切さが、もっと社会に注目されても良いのでは？と感じました。



千人針の展示

12月は恒例となったトークリレーDX。第4回にもご講演いただいた岩田松雄さん（89期）が、71回目にパワーアップして再登場。「キャリアアップ人生2」として、ご自身の経歴とスターバックスの経営理念について力強く語られました。革新を持ってマーケットをリードし、お客さんの心を満たすことで世界の見本となる。そして100年光り輝く安定的に成長する会社を目指すという理念は素晴らしく、現場で働く従業員の方々の笑顔がそれを物語っているようでした。10月の講師、飯田精三さんがカルテット・ルペガースとして弦楽4重奏を披露。後半には異業種交流・名刺交換会も行われました。

運営方針の1～4は、こうして催事委員やFR委員の皆さんの協力でなんとかこなすことが出来ましたが、マンパワーや準備の不足で参加者の方々、事務局には、いろいろとご迷惑をかけてしまいました。六稜の誇りを高め、同窓生の交流を深めるために賛同していただける方には、是非とも会館催事委員会にお入りいただき、今後さらに楽しい企画を継続的に開催していくため、お力添えいただければ幸いです。



DXのパーティ風景

六稜トークリレー

Rikuryo Talk Relay

<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

東京六稜倶楽部

<http://rikuryo.or.jp/tokyo/rikuryo-club/>

日 時★原則、毎月(第1)土曜日
13:30開場 14:00開演(約2時間)
会 場★六稜ホール(六稜会館3F)
※1Fロビーも同時使用可
会 費★500円(お飲み物を準備しています)
主 催★六稜会館催事委員会
共 催★各期同期会 or クラブOB/OG会など

お休みです。



毎月第3水曜日★日 時
11:00開場 11:30開演(約2.5時間)
ライオン銀座クラシックホール★会 場
(銀座ライオン7丁目店6F)
2,000円(ランチバイキング付)★会 費
東京六稜会★主 催
松本邦宏@70期/太田省三@77期★事務局

 第72回■岡本 裕さん@87期 「9割の病気は自分で治せる～ おいしい患者にならないために」	2010年 1月 20日 January	第85回■佐々木三郎さん@77期 「地球環境問題とグリーン ニューディール」 
 第73回■香取由夏さん@109期 「音楽家の試練と情熱 ～心にとどく音楽のために」	2月 17日 February	第86回■森本昌義さん@69期 「CSR、企業の社会的責任」 
 第74回■馬場桂一郎さん@75期 「もう一つのオリンピック ～スペシャルオリンピックス」	13日 3月 17日 March	第87回■羽田壽夫さん@70期 「横浜開港150周年～横浜浮世絵 に見る横浜開港と文明開化」 
 第75回■	10日 4月 21日 April	第88回■釜江尚彦さん@69期 「アナログからデジタルへ」 
 第76回■	8日 5月 19日 May	第89回■川島良彰さん 「コーヒーの多様性を求めて ～コーヒーハンターの旅」 
 第77回■	6月 16日 June	第90回■米沢 勲さん@76期 「温暖化と哲学」 

六稜文庫

(1月末までのご寄贈受付分)

<http://rikuryo.or.jp/books/>

『よみがえれ! アンクルトリス～自分にやさしく生きたいナ』
勝村義和(71期)
『慟哭 弘暁の海～先輩たちの人間魚雷「回天」』
石田肇(75期)
『詩と思想 詩人集』
中太郎兵衛(46期)
『こうして防ぐ! 食品危害』
米虫節夫(71期)
『食品衛生7S 入門 Q&A』
米虫節夫(71期)
『やさしい食の安全』
米虫節夫(71期)
『どうすれば食の安全は守られるのか』
米虫節夫(71期)
『真ん丸の月』
大北芳郎(60期)
『統合医療がよくわかる～老い方上手』
渥美和彦(59期)
『8.15 傘壽の追憶 戦時下の中学生』
里井伸作寄贈/住中21期生傘壽記念文実行委員会
『虎の目にも涙～44人の虎ばなし』
福井栄一(97期)

『野菜調理のスーパーテクニック～若林三弥子の蒸し
いため』
若林三弥子(88期)
『OB 通信』
六稜サッカー部OB会編
『川生きて 岸本嘉名男自選詩集2』
岸本嘉名男(68期)

『プロデューサーのキャリア連帯』
山下勝(103期)

あなたのショッピングが同窓会への寄付になる!

ご存じですか?



インターネット通販大手のアマゾンをご利用の方は、まず初めに六稜Webを経由してからショッピングするようにしてください。たったそれだけの手間で、購入代金の3%がアマゾン社から六稜同窓会へ支払われます(「紹介料」名目)。ぜひ、ご利用・ご協力・呼びかけの程お願い申し上げます。



←六稜Webから、このボタンをクリックしてください。

事務局だより

年会費納入状況

平成21年度の会費は、1月8日現在4,852人の方から納入して頂いております。納入率は17%です。前年の同時期で見ますと350人ほどの減になっています。

納入が未だの方は この会報に同封のゆうちょ銀行かコンビニかの用紙を選択して、年度末の3月末までに納入していただきますようお願いいたします。

銀行振込をお望みの方は、今回から新たに
三井住友銀行・十三支店
普通 1077672 六稜同窓会
を、開設することにしました。
振込に際しては、会員番号を必ずご記入下さい。(同姓同名の方との間違いを無くする為)
但し、振込費用は各自ご負担となります。

インターネット「アマゾン」で六稜文庫の2台目の書棚の購入

六稜会員のアマゾンでの購入により同社からの紹介料が2009年12月末での累計305,057円となりました。その中から78,900円で2台目の書棚を購入させていただきました。ご協力いただきました方に報告を兼ね、お礼申し上げます。

六稜カルチャー講座のお誘い

【講師】万葉に親しむ 山崎 馨先生
英文学名作の旅 佐野哲郎先生

3月26日(第4金曜日) 万葉に親しむ
4月23日(第4金曜日) 英文学名作の旅
5月28日(第4金曜日) 万葉に親しむ
6月25日(第4金曜日) 英文学名作の旅
7月23日(第4金曜日) 万葉に親しむ
8月27日(第4金曜日) 英文学名作の旅
9月24日(第4金曜日) 万葉に親しむ
10月22日(第4金曜日) 英文学名作の旅
11月26日(第4金曜日) 万葉に親しむ
12月17日(第3金曜日) 英文学名作の旅
各講座とも2時より開始。
会 費 ￥500

●82期(昭和45年卒業)同期会御案内

久しぶりの同窓会です。是非御参加ください。

1. 日 時 平成22年9月11日(土曜日)
午後6時開始
(受付午後5時30分より)

2. 場 所 新阪急ホテル
学年幹事 田中俊明、笹野太佳子

●90期 時計寄贈

136周年総会担当期90期より六稜ホールに時計の寄贈がありました。



●122期生同窓会 学年理事

	男 子		女 子	
理 事	田中 啓介	5 組	内田紗也香	5 組
副理事	徳永 亮太	4 組	井畑 夏美	4 組

クラス幹事

組	担 任	男 子	女 子
1	榎 本	川西 伸正	三浦 梨紗
2	富 山	橋詰 拓馬	和田 詩織
3	葛 山	林沼 勝利	赤塚 友紀
4	岡本博	徳永 亮太	井畑 夏美
5	石 川	田中 啓介	内田紗也香
6	的 場	網岡 勝平	岡本 里紗
7	福 田	中橋 晶	大島 菜摘
8	小 林	工藤 弘隆	塩崎 杏奈



高松 琴平・松山・宮島：4期
高松 琴平・松山・宮島
箱根 鎌倉 東京
高松 琴平・松山・宮島
高松 琴平・宮島
高松 琴平・宮島
集岡・蛭峨・一高松 琴平・宮島一下関・福岡 熊本 別府
伊勢神宮・一高松 琴平・宮島一別府 熊本 福岡 広島
徳島 高松・岡山 伊勢神宮・名古屋 舞鶴 伊勢 一 角岡 彦根
高松 琴平・宮島・岡山 舞鶴 比叡山
高松 琴平・宮島・岡山 舞鶴 城崎
観音寺 琴平・屋島・岡山 高松 琴平・宮島・岡山
宮津 舞鶴 江田島 呉 広島
琴平 高松・岡山
福知山 城崎 姫路
琴平 高松 鳥取 松江
高野山 伊勢神宮 一見浦
高野山 伊勢神宮 一見浦

That's our

▲昭和38年(1963)、女子だけの修学旅行～北九州への船旅(76期)



やくも

■加藤 望さん (86期)

萩と津和野へ2泊3日の修学旅行でした。ほかに能登方面、高知足摺岬方面と3班に分かれて出かけました。

萩で吉田松陰ゆかりの地を訪ねたり、萩焼をみたりしながら津和野に入ったのは確か昭和48年3月20日過ぎのことでした。

事件は帰りの列車で起きました。山陰線・特急「松風」で福知山線を経由して大阪駅までというルートでした。途中、米子駅で停車したときのことです。後続の特急「八雲」岡山行きが8分後に出る…というアナウンスを停車時間8分と聞き違えたのです。

ちょうどホームの目の前に立ち食いうどん屋があり、それを見た僕は、ためらうことなく財布だけを持って、シャツのまま飛び出て注文しました。ふと後ろを見るとドアが閉まりかけ、慌てて戻ってドアにしがみついたのですが…時すでに遅し。「松風」は無情にもジーゼルの音を轟かせ行ってしまいました。

次の「八雲」に乗らなければ翌日まで列車がありません。午後3時過ぎのことです。呆然としていたのは30秒ほどでしょうか。急いで助役室に行き事情を話したところ、助役の方は事態をすぐに理解し下さり、指示書を書いたうえに「八雲」の車掌に引き渡してくれたのです。そして「八雲」から新幹線へ(新幹線の特急券は買わされました。2500円ほど払ったのを覚えています。トイレの前まで人が立っている満員のなか、座れただけでも良かったです。)

当時の新幹線は岡山始発でしたから、岡山に出て新幹線に乗り換えると皆より早く着けると計算、先回りして新大阪から大阪駅に移り皆を待ち受けたのです。

当然、話はそれだけでは終わらず、翌日、学校に呼び出され、佐賀先生にこっぴどく叱られ、3日間の自宅謹慎を言い渡されました。実のところまともに謹慎はしていません。春の高校野球を観に甲子園に行ったりとふらふらと遊んでいました。いずれにせよ助かったなと今振り返ると思います。一番の被害者は、青くなったJTBの添乗員だったと思います。

現在では殿方よりも、奥様方のほうが頻繁に旅に出かける時代になった。

■74期 男子 (不参加)

学校の制度としてなかったため。

■74期 女子【九州】

どうして男女共学なのに、楽しみの修学旅行が女子だけなのか、悲しみと不満でいっぱいだった。阿蘇山の火口近くに登っていったとき、ガス(小雨と霧)が多く出て前後の人とはぐれ、心細く泣きそうになった。

■76期 男子 (不参加)

男は行かせてもらえなかった。

■76期 女子【別府・阿蘇・長崎】

バス、夜行電車(車中泊)、船を利用。阿蘇山で吹雪で足元が心配だった。長崎での散策が異国情緒豊かで印象的だった。バスガイドさんに「ミッションスクール?」といわれ、ショックだった。

■77期 女子【別府・阿蘇・長崎】

3月なのに吹雪で阿蘇山の火口周りを歩いたが寒く、そして何も見えなかった。見学先で他地方の男子校と一緒にになると、引率の先生方が女子だけの生徒を守るため(?)、ナーバスになっておられたことが面白かった。

■78期 男子 (不参加)

当時は女子のみが、修学旅行に行くことになっていた。

■78期 女子【九州】

すべてが楽しい思い出。在学中は78期全員で修学旅行には行けなかったが、卒業後は過去3回の旅行を行った。

■82期 男子【松江・大山】

4コースからの選択制。この年、京都大学の合格者出身高校ランキングで北野が1位となり全国的にも注目されたため、先生方から旅行中の行動には注意するように指示があったにも拘わらず、松江の町を大声で歌いながら歩き回った。



■87期 男子【日光】

日光からの帰り、東京駅での待ち時間に八重洲の地下街のレストランで、〇ールを飲んでしまったこと。一応罪悪感があったが、これ以来、酒飲み人生が始まった。まさに記念すべき出来事であることに間違いない。

■88期 男子【小豆島】

中学時代よりも近い目的地、男子の参加についての議論など、戦前が生きると北野の独特さを痛感した。しかしながら、汽船を500人弱で貸切で使えたことは、他の交通機関にはない思い出となった。

■95期 女子【萩・津和野】

クラスでの夜の演芸(?)大会が楽しかった。

■96期 男子【小豆島】

2月の寒い中サンフラワーを貸切で船中2泊した記憶。記念写真にはETのポーズが多かった。

■101期 男子【長崎、柳川など】

柳川で食べた鰻のせいろ蒸しが、この世のものとは思えないくらい美味しく20年経った今でも出張で福岡へ出向くときは必ず食べている。

■103期 男子【長崎】

麻雀パイを持ち込んで、麻雀をした。

■108期 男子【長崎】

ハウステンボスで売っていた、ビールゼリーがおいしかった。

■110期 男子【沖縄】

飛行機解禁の年で、いくつかの候補地から生徒・保護者の希望を取り、多数決で決まった。

■113期 女子【沖縄】

プライベートビーチで塩作りやバーベキューを企画し、楽しかった。

■121期 女子【沖縄】

宿が最高で何ととっても、ご飯がおいしかった。





■塩本理恵さん（123期）

いまや修学旅行といえば目的地までの移動手段は飛行機がほとんどです。そんな世代の123期の修学旅行は、寝台特急を利用するという珍しいものでした。飛行機が普及していなかった時代の旅行といえば移動手段はほとんど電車であったので、寝台特急は過去の修学旅行で何回か使われているだろうと思っていました。しかし、寝台特急の利用は今回が初の試み、なのだそうです。そのため、123期の修学旅行は過去最長の4泊5日となりました。しかも函館・東北というコースも本校初なのだそうで、いろいろと初めてづくしの旅行でした。

さて、寝台特急ですが、1セクションに二段ベッドが2つ、向かい合わせにありました。そのベッドの上にはシーツとともにJR柄の浴衣も置いてありました。ベッドに備えられている転落防止用の柵は少し心細いものでしたが、何とか落ちずに一晩を過ごせました。また、途中で数回駅に止まったときに見た、誰もいない夜の駅も興味深かったです。

飛行機で空から津軽海峡を眺めるのも良いかもしれませんが、列車でのんびりと東北の民家を眺めながら青函トンネルを通過するのもまた良いものだと思いました。



▲青森駅にて（寝台特急「日本海」は17:47に大阪駅を発、翌朝8:34に青森駅に到着する）

1980年代には、船を貸切ったクルージングを行ったり、日程も伸びたり、1990年に入りますと航空機が解禁となります。船を利用した年には、以前よりこれまでのスタイルを変えようという動きがあり、現校長の八尾先生のご尽力があったとお聞きしました。きっと航空機解禁にも、先生方の大変なご苦労があったと推察します。

長い歴史、年代を超えて、修学旅行は生徒だけのものではなく、先生方も大きく関わり大切に考えてくださっていることを、改めて感じました。

修学旅行の歴史の旅は如何でしたか。普段は真面目な北野生も、世代は違えども、やっぱり修学旅行では羽目を外してしまうようですね。それを温かく(or ハラハラと?)見守ってくださった引率の先生方に感謝しなければならないでしょう。

昨年は、夏休みに遠野へ夜行列車での修学旅行となりました。これまで飛行機で沖縄や北海道に出かけていましたが、夜行列車でののんびりとした旅は未経験の方が多かったのではないのでしょうか。現役生だけでなく、引率の先生方も大いに楽しまれたことと思います。

修学旅行の歴史に、また一つ大きな足跡が残されました。修学旅行は、いつの時代も心に残るイベントです。

他校では海外への研修旅行も耳にしますが、今後、海外にお住まいの六稜同窓生が、修学旅行中の現役生に遭遇する日がやってくるかもしれません。

また、海外旅行が当たり前ようになったご時世で、円高も後押しする昨今ではありますが、次の旅行は学生気分に戻って思い出の地を巡る『修学旅行プラン』はいかがでしょうか。

※修学旅行特集のアンケート取材にご協力下さいました学年理事の皆さま、六稜Webで投稿下さいました皆さま、お手紙や貴重な写真をご提供下さいました皆さま、そして、資料収集にご協力いただきました高橋昌弘先生（社会科）に心から感謝の意を示します。

【アンケートにご協力いただいた期の方々】

45期、55期、62期、63期、64期、65期、66期、67期、68期、70期、71期、72期、73期、74期、76期、77期、78期、82期、86期、87期、88期、95期、96期、101期、103期、108期、110期、113期、121期

Party Reports 2

●65期総会報告

正田 紹之進 (65期)

65期総会が平成21年6月27日(土)に、「ANAクラウンプラザホテル大阪」にて開催されました。当日は、山崎馨、関谷全両先生ご臨席のもと105名の同期生が集いました。

年齢的にいっても、70代半ばで同期会に常時100名を超える出席者があるのはきわめて異例のことのようです。また、『六稜会報』によれば、平成20年度の年会費納入率のトップは65期が占めている由。このことは、65期生がいかに愛校心に燃え、同期生相互間の結束力が高いかを如実に示す証左と言えるのではないのでしょうか。

さて、当日は、定刻通り、午後1時、寺田政宏君による総合司会で始まりました。岡田一彦65会会長の挨拶、幹事代表の松本淳一郎君の挨拶があって後、恩師山崎馨先生からご挨拶をいただきました。次いで、新原章弘65会事務局長から一般事務報告と過年度物故者7名の報告がなされ、一同、他界された恩師・同期生を偲び黙祷を捧げました。最後に、大隅徳保君発声による乾杯があって後、直ちに懇親会に入りました。

今年総会には、イベントとして田頭雅法氏によるクラシックギター演奏を用意。懐かしの名曲が次々に会場に響きわたり、会はいっそうの盛り上がりを見せました。また、今回は例年のビュッフェ形式とは異なり、卒業時クラス単位での指定席形式による会食方式とし、メニュー内容も豊富かつ美味でなかなかの好評でした。

各テーブルの話題としては、お互い後期高齢者医療制度への仲間入りすることもあってか、もっぱら健康談義に花が咲き、また、北野時代をふり



返っての思い出話やら、近況を交歓したりして旧交を温め合い、今後の毎年の65会総会には全員揃って出席しようと誓い合いました。名残り惜しい懇親会も瞬く間に終了の時間がせまり、恒例の角田樹美君による指揮のもと、全員校歌を高らかに斉唱しました。その直後、明石仁君が飛び入りで壇上に上がり、一人で全曲を独唱してフィナーレを飾ったのがとても印象的でした。総会は午後3時40分に無事終了。いまだに陽射しの残る堂島のビル街を後にして、一部有志のグループは十三のカラオケ喫茶へ、また、句遊会のグループは明日の吟行のため京都へと、それぞれ散っていきました。

●80期還暦記念東京支部同窓会

大久保 剛 (80期)



街のアチコちにツリーが飾られ、イルミネーションが輝やく12月19日に、我々「80期84名」のメンバーが皇居を見下ろす東京会館最上階のバンケットルームに集結。「還暦記念東京支部同窓会：新たな人生の旅立ち」と銘打った同窓会が開催されました。卒業以来早や42年。

しかし、思い出が一杯詰まった3年間の北野生活を共に過ごした仲間には、時の流れは一瞬のうちに氷解。風貌・プロポーションに若干(かなり?)の変化はあるものの、あっという間に心は高校時代に。オールディズバンドの耳に懐かしいメロディを背景に、そこ彼処で歓談の輪が。

昨年3月に御殿場で開催された幹事の引継ぎ会(御殿場会と称し例年30名強のメンバが参加)で「我々80期生の還暦記念ふさわしい同窓会を!」幹事団を結成。「80名以上のメンバの参加、そして新たな人生の旅立ちにふさわしいメモリアルを皆さんの心に」を合言葉に、ほぼ毎月幹事会を開催。「卒業アルバムから作成した参加メンバの顔写真」を付したネームプレート、「メルシャンワイン」さまのご好意による「木箱入り6ℓワイン×3本」のウェルカムドリンク、「玉の光」(京都の著名な酒蔵)さまのご協力を得て、「北野の校

章をモチーフにした特製ラベル付きの記念酒」の配付、そして圧巻は「入学から今日までのスナップ写真」を配したDVD。「太陽がくれた季節（青い三角定規）」の軽快なメロディーと旧校舎の正門の映像に始まり、我々の3年間の軌跡が次々にスクリーンに。全員が声も無くスクリーンに見入り（写真参照）、改めて「共に過した北野高校の3年間」を感慨深く振り返ったひと時でした。

締めくくりは「故森繁久彌先輩」の独特の節回しによる校歌が。「六稜の星のしるしの・・・」あっと言う間に4時間が経過。

さあ、明日から真実の人生が始るんだ・・・！

●88期同窓会報告

森口 治、日裏晴世（88期）

2009年11月22日（日）ホテルプラザオーサカにて、88期同窓会が開催されました。1次会71名、2次会52名、そして、場所を変えての3次会には29名の参加と、述べ数150名を超える盛大な会となりました。大阪だけでなく東京や他府県からの出席もあり、懐かしい顔ぶれがそろい、和やかに会がスタートしました。乾杯の後のテーブルごとの5分間スピーチでは近況報告がなされましたが、話題は介護や健康相談が多く、同い年ゆえの悩ましさも共有しました。一方、恒例のビンゴゲームでは、有志による多数の豪華景品が提供され、それらを手にした嬉しそうな顔は、あの頃の高校時代の表情そのものでした。オフ会での思い出の写真がスクリーンに次々と映し出され、出席が叶わなかった仲間にも、映像でお目にかかることができました。今回は、残念ながら応援部による校歌斉唱が無く、CDに合わせてのコーラスとなりましたが、全員起立できっちりと歌い上げました。幹事挨拶と次期理事の紹介、そして一本締めにて3時間にわたる1次会を終えました。記念撮影の後、2次会会場のラウンジへと移動しましたが、熱気は高まる一方で、大きな笑い声があちこちで起こり、ヒートアップ状態のままの2時間となりました。



た。3次会は88期定番のカラオケですが、選曲にその人のライフスタイルが投影されているようで、時折、美声に合わせてのダンスも繰り広げられ、拍手喝采がしばし続きました。4次会・5次会へと流れていった方々、御無事だったでしょうか。2年後の同窓会、指折り数えて今から楽しみにしております。

●隅田川 桜めぐり 関東六稜剣友会 徳岡 浩二（92期）



平成21年4月5日 隅田公園の満開の桜が一面に広がる絶好の花見日和の中、山元茂樹さん（82期）の呼びかけで関東在住の剣道部OB13人が屋形船に乗り、美味しい料理に舌鼓を打ちながら、楽しい交流のひと時を過ごしました。墨提さくらの起源は徳川八代将軍 吉宗が享保二年（1717年）に堤防保護と風流を考えて植えたのが始まりだそうです。当日は夜遅くまで酒を呑み交わし、日頃のストレスを発散しました。

●六稜92会

東京開催（6月6日）大阪開催（7月4日）
住山 真一郎（92期）

92期では6月6日の東京六稜会総会に合わせ、昨年に引き続き同期会を開催しました。6時から新橋にて久しぶりの旧交を温めました。参加者が少なかったのが残念で、来年は是非多くの方にお集まりいただければと思います。また7月4日に





は六稜トークリレー講師に同期の林巧さんが講師として来阪しましたので、その慰労会をかねて梅田で美味しい中華料理を楽しみました。

●97期同期会

学年理事 稲本 望 (97期)

2009年8月15日に六稜会館で97期の同期会を行いました。

2007年から3年連続の同期会になりますが、今年も100人以上の参加者で盛況でした。今年はタコ焼き器を購入し、その場で焼き上げるというパフォーマンスを行いました。クラブ・クラス対抗で焼き具合を競うなど、競争に真剣になる六稜魂満載の同級生多数でした。自宅に卓球台を所有しているK君が稀有なことに？彼所有のトラックで卓球台を会場に運び入れてくれました。クラス対抗の卓球大会となりました。真剣勝負といきたいところですが、打つ時に与えられたお題に答えるルールで勝負。打ち返すとお題に答えられず、答えると打ち返せず、飲酒の勢いも手伝って珍プレー連続で盛り上がりました。

住んでいるところ・働く場所・私生活もみんなバラバラですが、高校の時のように和気あいあいと話せ、楽しい同期会になっています。

2010年は8月14日土曜日の開催で予定を進めています。

宴会芸かゲームなど、皆が楽しめるネタを考えています。

久々の参加の方もお待ちしております。

5-6月頃に同期会のハガキやメール、mixiで案内します。



●106期同期会

中西 岳、炭崎竜平、中嶋明子 (106期)

新年早々の1月3日に、106期の同期会を同窓会館をお借りして開催しました。あえて1月3日を選んだのは、以下の理由からです。

- ・一人でも多くの人に参加してもらいたいため、盆より年始を狙った。
- ・2000年の1月3日にも同期会を開催しており、そのときの約束「10年後にまた開催する」を実現するため。

去年の8月ごろから、同窓会館2階会議室を利用して、現在も北野にご在職の先生方や同窓会事務局の方々と入念な打ち合わせを行ってきました。さすがは北野生。皆いろいろな分野で活躍しており、打ち合わせでも、その能力を如何なく発揮していました。私も、有給休暇を何日か取って、同期会の仕事に奔走しました……。

当日は12時開場でしたが、それ以前の時間から多数来ることが予想されたので、1階の受付に、「思い出の品・展示コーナー」を設け、当時の写真や、野球部ベスト8のサンスポ、赤点だらけの通知表などを展示しました。私は、木の葉バッジと大会記録メダルを持ってきました(両方持っているのは珍しいのでは？)。案の定、12時の時点で100名を超す人が集まっていました。

200名を超す同期とそのお子さんたち、8名の先生方(宇田先生・国語、唐津先生・物理、安藤先生・世界史、三橋先生・数学、山崎先生・英語、正者先生・国語、井上先生・体育、佐々木先生・音楽)が集まりました。特に、宇田先生の参加は、実行委員も知らず、受付に登場の際は、歓声がおきたとのことでした。

10年前の同期会のビデオを上映し、先生方代表で正者先生に挨拶いただいたあと、宇田先生の乾杯挨拶で会が始まりました。

各クラスごとに集合写真を撮り、その際担任の先生、またはクラス代表者に近況を報告いただきました。中には「教頭先生？」と見間違ふほどの風貌になってしまった人もいました。

また、現住所の地域ごとのテーブル替えも行いました。これがきっかけで、各地でミニ同期会が開かれてくれば、と思います。

途中、「高校時代の思ひ出」と題したビデオを上映しました。合格発表の映像が残っており、他にも体育大会の仮装行列や棒倒



しなど、懐かしい高校時代を思い出しました。

恩師や同期の思い出を歌ったミニライブを行った後、締めは、佐々木先生の指揮の下、校歌を1番から5番まで歌いました。

2次会は十三の和民で行われ、これまた100人もの方が参加され、談笑にふけていました(結局、4次会までありました)。

次回は6年後の不惑となる年を予定しています。
※なお、同窓会費の徴収も行い、納入率3%から17%にアップしました。

●112期同期会

同窓会幹事 梅村吉範(112期)

2009年12月30日に私たち112期は約8年ぶりに同窓会を行いました。

卒業して10年目ということで、様々な方面から同窓会をしたいという声があり、今回実現しました。

第1部は、六稜会館で行いました。私たち112期は、旧校舎最後の卒業生ということもあり、10年ぶりに学校を訪れた人は、新校舎や、六稜会館の存在に驚いていました。

年齢的に当たり前かもしれませんが、子どもを連れて来ている同級生もいて、そちらにも驚いていました。

テーブルごとに3年時のクラスに分かれ、クラス対抗のクイズ大会を行ったり、同窓会にかけつけていただいた先生方から、コメントをもらったりして、昔を思い出しながら、近況を報告しあうとても有意義な会になりました。



第2部は、がんこ本社で行いました。成人してから、同級生同士で初めてお酒を飲み交わしたこともあってか、2時間という時間があっという間に過ぎるくらい盛り上がりました。ほぼ2時間しゃべりっぱなし、飲み放しで、高校生のころに戻ったかのように誰もが、若く生き生きしていました。

最後に、今までなかなか開かれなかった同窓会をこんなに楽しいならもっとやろうということになり、幹事を私から蓮池君にバトンタッチし、数年以内に開くことをみんなの前で約束して幕を閉じました。

第3部も勢いそのままに約半数ほどですが、参加し、夜の十三の街へ消えていきました。

改めて同じ釜の飯を食べた同窓生は素晴らしいものだと感じれた一日となりました。

●114期同期会

平井祐太郎(114期)

2009年12月29日、北野高校114期の同窓会が行われました。114期は卒業して約7年。今ではそのほとんどが大学を卒業し社会の様々な方面で活躍しています。活躍の場は大阪だけに留まらず日本全国に。そのため簡単に会うことはできなくなってしまいましたが、社会に出てからも青春時代を過ごした絆を忘れないでおこうと有志が立ち上がり同窓会を開く運びとなりました。「DokiDoki☆同窓会 Party」と銘打たれたこの会。久しぶりの再会に、そして高校時代には惜しくも交流のなかった人達との新たな出会いに、胸を「DokiDoki」させなが100人ほどの仲間が集まりました。

一次会の中津のRAMADAホテル。ホテルの立食形式とあってそれぞれがドレスアップを楽しんでやってきたようです。会場に入るとそこには懐かしい顔。懐かしい顔。懐かしい顔。久々の再会ながらも一瞬でうち溶け合えるのが高校の仲間の良さだなと実感しました。

会が始まりまずは校歌斉唱。久しぶりに口ずさむ校歌も高校時代に何度も歌ったせいか皆が難なく歌うことができます。そして3年次のクラス単位に分かれ近況報告など。さすが北野生、社会の様々な場面で活躍されていて舌を巻くばかりでした。しかし屈託のない笑顔は高校時代のままで本当に懐かしい気分になることができました。



また会には様々な催し物が用意されていて今まで交流のなかった人達とも親睦を深めることができました。中でも白熱したのが縄跳び大会。当然縄はビニール製のものではなく、あの太い文字通りの「縄」です。体力自慢の数名が名乗り、仲間を応援しました。興奮と懐かしさが入り混じる中、次第に今までは接することのなかった人達とも一体感が生まれ、会は終始和やかなムードで進んで行きました。



二次会は北新地の KARMA (カーマ) というお店。仕事を終えて急遽駆けつけたメンバーも含めて本当においしいお酒を楽しみました。日々の仕事に追われて一息つく暇もない中でこうして肩を並べて飲むことができ、少しだけあの頃の自分を取り戻せたような気がします。その後は各々にこれからの健闘を称え会はお開きになりました。

高校を卒業して約7年。北野高校の友人たちに再会でき、改めて北野生の絆の深さを感じました。この一日が皆の明日への活力になると感じています。

●118期はじめての同期会

実行委員会委員長 千熊英津子 (118期)

2009年12月27日、118期第一回同期会を行いました。夏休みから準備を進め、20名を超える実行委員を組織し、計画を進めていきました。当



日はリサイタル、一次会、二次会を企画し、315名の卒業生のうち203名が集まりました。1次会にはお世話になった池田先生、榎本先生、岡本先生、高倉先生、徳永先生、富山先生、樽本先生、野呂先生にもご参加いただきました。

午前中は音楽科の佐々木先生のご協力で音楽室をお借りして、118期卒業生で東京藝術大学へ進学された森田みず希さんによるピアノリサイタル「たもリサイタル」を開催しました。Chopin、Rachmaninoff、Ravel など難曲ばかりで、高校時代よりもさらに磨きのかかった演奏に音楽室に集まった同期生は聞き入っていました。

午後からはまず、六稜会館で一次会を行いました。クラスごとに分けた立食パーティー形式で久しぶりの再会を楽しみました。先生方からご挨拶をいただいた後、歓談タイム、クイズ大会、景品抽選会、とプログラムは続きました。クイズ大会では当日で参加いただけなかった先生方がVTRで登場されたり、北野の意外と知らない一面を扱ったりと大いに盛り上がりました。景品抽選会では豪華景品が当たるということで参加者の目は真剣でした。

二次会のはがこ寿司安田生命ビル9階の宴会場をお借りして行いました。こちらではお酒も入り、高校時代の思い出や現状報告など尽きない話で話題は絶えませんでした。高校時代の懐かしい写真をスクリーンでスライドショー流し、こちらでも楽しむことができました。

この後もクラスなどで3次会、4次会…と続いたところもありました。卒業して4年経ちましたが、再会するとすぐ高校生の時のような感覚に戻り、北野で過ごした3年間の充実した日々を共に過ごした仲間のつながりの強さを実感しました。計画から当日まで準備は大変でしたが、参加していただいた方々から「楽しかった」という声を多数聞くことができ、苦勞が報われた思いでした。次期幹事も新しく決まったので、次回集まれる時を楽しみにしています。最後になりましたが、準備から当日までお世話になった事務局の久保田さん、井上さん、助言をくださった先輩方、本当にありがとうございました。



母校の窓

■クラブだより

《文化部（50音順）》

文藝部……………

今年度は新入生を加えて、8人で活動しています。なに、部員が少なくなった？ だからどうした、我々の活字に対する愛は、その程度の障害ごときにやられるわけがない！そして今年度、やっと念願の部室を手に入れることができました。が、全員入って文章を書くには少々手狭なので、依然としてどこかの教室でひっそりと生息しています。三題噺は今でも部員のよきライバルです。部誌は去年と同じような顔触れ。

・6月：『北野文学』『幻』六稜祭にて

・9月：『F-style』『B-style』第六号（夏）

・11月：『F-style』『B-style』第七号（秋）

1月25日以降の発行予定は、『F-style』『B-style』第八号（冬）や二月の文化芸術祭で配布される『極彩色の彩空想』となっております。今後の活動指針、部員の精力源となりますので、部誌の感想、ご意見等ありましたら是非北野高校文芸部宛てにお寄せ下さい。

E.S.S部……………

■2009年

Hello! 今年度は、毎週火曜日に、LL教室で活動しました。現在、部員は、3年生11人が引退し、2年生3人、1年生10人、そして、今年度から北野高校に来られたアメリカ人のALTの先生と楽しく英語を学んでいます！主な活動内容は、外国の文化に触れること。たとえば、姉妹校セントウッド、セントレイク校との交流ハロウィン、パイ、クリスマスパーティー、洋画鑑賞などです。その他、英語に関することをみんなでいろいろ考えて実行しています。パーティー等では、顧問の先生方もたくさん参加してくださって、大変盛り上がり、とても楽しい一年を過ごしました。ぜひ一度覗きにきてください！！

物理研究部……………

■2009年

3年生が引退されて現在1年生一人で活動中です。本年度の予算で人型のロボットを購入するも、予算が足りず動作の電池を買っていません。電池以外は完成しており、後は電池をはめて…。これからのほうが大変そうです。

化学研究部……………

■2009年

今年度から活動日を月・水・金に変更して週3日の活動をしています。3年生の引退後は1年生二人、2年生三人で、好奇心の赴くままに実験・研究しています。

生物研究部……………

現在の部員数は正規は二年一人、一年生二人です。去年は生物研究部の雑誌LUPEの41号の制作に部員不足ながらも、何とかこぎつけました。また、去年、一昨年に続き、生研大掃除として、生研に関する資料やモノの整理をし、これからの後輩がすぐに実験できるように努めました。正規部員がみんな美術部という先輩に負けにくいくらい変なメンバーで活動しています。実績等は少ないですが、他のクラブにはない「命の尊さ」が学べる唯一のクラブです。

去年行った研究

校内植物調査

男女についてのアンケート調査

ロボロフスキーハムスターの飼育

など、気になる方は生物研究部に足を運んでください。

地学研究部……………

■2009年

今年は思うように活動できませんでした。天候不良や太陽の黒点の少なさ、定時制の終了、放課後以後の活動時間である夕方に木星、月以外の惑星がほとんど見ることができなかったことなどの原因が考えられ、とくに活動日の殆ど（部員が3年なので元々活動日が少ないのですが。）が天候不良で活動できなかったことが残念で仕方ありません。次年度は新入生をはじめとして新2・3年生も気軽に入部して天体観測などの活動を行ってほしいと思います。

美術部……………

美術部に在籍している部員は、2010年1月現在、1年生8人、2年生6人、計14人で、美術部にしては多いのではないかと思います。このうちの大半がほかの部との兼部ですが、全員参加の金曜日以外は来るも来ないも自由なので、両立も十分可能です。各自好きな時に美術室に足を運び、それぞれの目標を持って作品に取り組んでいます。また、途中からの入部も可能なので、一年の途中からという人や、二年生になってからという人も少なくありません。絵画、デザイン、工芸など、先生の指導を受けつつ、各々が興味のあるものに挑戦します。展覧会前の美術室は、けっこう活気があるんですよ！先輩、後輩関係なく、部員同士も仲が良かったです。去年はBBQやハロウィンパーティーをやりました。こんな美術部ですが、入部するのにあたって絵の得意不得意は関係ありません！何かを表現したい、形にしたい、という方であればだれでも大歓迎です。少しでも興味のある方は一度美術室に足を運んでいただければと思います。

活動内容

■2009年

1月

・コンクール展（1年3名・2年3名）

生徒実技講習会

・文化芸術祭プログラム表紙作成

・年誌表紙・挿絵作成

2月

・ブロック展（1年2名・2年6名）

4月

・球技大会プログラム表紙作成

・七宝焼き（新入生歓迎）

6月

・六稜祭

プログラム表紙作成

看板製作

他己紹介

作品展示

絵葉書販売

8月

・高校展（1年6名・2年4名）奨励賞2名

9月

・水泳大会プログラム表紙作成

10月

・体育大会看板・プログラム表紙作成

12月

・部誌発行

コーラス部……………

■2009年

今音楽をこよなく愛する二年8人の部員がいますが、皆兼部でそれぞれに忙しく、なかなか集まれない状態です。今年は少しの時間でも、歌っていきいたいと思っています。興味のある方、歌うのが好きな方、経験未経験問わず歓迎です。ピアノ伴奏だけなら、…という方も大歓迎です。よろしくお願いします。

オーケストラ部……………

■2009年

現在、オーケストラ部は2年生24人、1年生25人の計49人（男子：7人・女子：42人）で音楽室で活動しています。活動日は、毎週月曜日～土曜日で、演奏会など大きな発表があるときは日曜日にも活動しています。部員の約9割は初心者ですが、日々練習を重ねて頑張っています。

・第63回定期演奏会について

5月1日（土）の夕方、箕面市メイプルホールにて行う予定です。

ベートーヴェン：交響曲第3番「英雄」

入場料：無料

ぜひ聞きに来て下さい！！

●詳しくはオーケストラ部ホームページにも掲載されていますので、是非ご覧下さい。

http://www.geocities.jp/kitano_orch/

吹奏楽部……………

私たち吹奏楽部は現在校内最多の部員数を誇る、明るくて元気いっぱいのクラブです。部員全員がそれぞれ係を担当し、一人ひとりがクラブ運営に携わっています。みんなで力を合わせ、よりよい演奏を目指して日々練習に励んでいます！多目的ホール等で練習していますので、ぜひお立ち寄りください！詳しくは、北野高校吹奏楽部ホームページまでどうぞ！

(http://www.geocities.jp/kitano_w_o/)

■2009年

2月6日 音楽フェスティバル（吹田市民会館メシアター）

3月19日～22日 合宿（京都府立るり溪少年自然の家）

4月10日 新入生歓迎演奏会（本校多目的ホール）
 4月11日 六稜同窓会（本校多目的ホール）
 5月5日 第12回定期演奏会（池田市アゼリアホール）
 6月7日 六稜祭（本校多目的ホール）
 7月19日 第4回奏でよう夏の吹奏楽コンサート（千里金蘭大学佐藤記念講堂）
 8月2日 第48回大阪府吹奏楽コンクール北地区大会 金賞&地区代表（大東市総合文化センター）
 8月10日 第48回大阪府吹奏楽コンクール大阪府大会 銀賞（大阪国際会議場）
 10月4日 中学生体験入学（本校多目的ホール）
 10月24日 北野高校平成21年度体育大会（本校グラウンド）
 10月25日 六稜同窓会総会（本校多目的ホール）
 11月1日 第一ブロック演奏会（池田市アゼリアホール）
 11月8日 ミニコンサート「第6回音の大収穫祭」（本校多目的ホール）

書道部
 部員は現在10人です。週二回ですが、楽しんで活動しています。

■2009年
 月曜と水曜日に二人で活動しています。六稜祭には、蘭亭序や風信帖の行書などを展示しました。今は、文化芸術祭に展示する予定の孟法師碑や張猛龍碑の楷書と、仮名の作品に取り組み中です。

写真部
 写真部は1年生2年生と合わせて21人います。基本的に活動は年に3回。六稜祭、体育大会、文化芸術祭です。なので兼部は可能です。今の部員は1人以外全員兼部しています。特に体育大会では種目を間近で見れるので楽しいですよ。写真が好きな方でもそうでない方も入ってくれたらうれしいです。

放送部
 こんにちは。放送部です。放送部は、2年ぶりに復活ということで二年生七人で楽しく活動しています。おもな活動は、学校行事のアナウンスやお昼の放送です。お昼の放送は、毎週火曜日と木曜日にやっています。最近は生徒会とのコラボレーションということで生徒会役員の方も参加してくださり、なかなかもりあがっています。リクエストBOX（袋!?）も設け、生徒のみなさんから曲のリクエストや放送部に対する意見を募ったりしています。しゃべるのが好きな方、DJや声優、アナウンサーの仕事に興味のある方はぜひ放送部へ!!

■2009年
 9.15. 水泳大会（アナウンス、実況）
 9.16. 同上
 10.4. 学校説明会（司会）
 10.10. 同上
 10.24. 体育大会（アナウンス、実況）
 ■2010年予定

2.12. 音楽フェスティバル（アナウンス）
 今年も7人で頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願いします。

映画研究部
 ■2009年

3年生が引退し、部員は半ば無理矢理（笑）引きずり込まれた1年生6人だけという北野きっての異色の部活となりました。どこかの部と構成がもろにかぶっているのは仕様です。←活動内容はいたってシンプルで、
 ①月一のペースで視聴覚室に映画を持ち寄る（もしくは顧問の先生に借りる）
 ②それを見る
 ③部員同士で意見交換（ただの感想の述べあい）をする のみ！

まあ昨年この部活が何をしていたのか誰も分からなかっただけなのですが…。よって2010年度は、自作映画を撮ろうかという話も持ち上がっています。活動は基本月一なので、兼部も可能です（というか全員兼部しています）。。。。映画好きの方は是非どうぞ！

囲碁将棋部
 ◆部員

2年1人 1年2人

◆活動日
 火水木放課後

◆活動場所
 LAN教室
 （スロープ上る）

◆活動内容
 水木の放課後には外部から講師の方がいらっしゃって、指導を受けています。また、茨木高校や早稲田摂陵高校と交流も行っています。

囲碁や将棋に少しでも興味がある人は遠慮なく私たちのクラブへ。もちろん自由参加で都合のあう日にきてください。再び強いクラブを作るためにあなたの力が必要です。ルールは簡単だけど奥が深い。優しい先生が初歩から優しく教えてくれます。初心者大歓迎！みなさんの参加を待っています！

ダンス部
 私たちダンス部は、2008年度より同好会から部に昇格しました！2009年1月現在、2年生3人、1年生8人で楽しく活動しています。練習は基本的に平日毎日、イベント前は土日も練習しています。2008年12月より、外部の先生に月2回程度、指導していただけたことになりました。2004年11月にストリートダンス同好会として立ち上がってから、5年が経ちました。これからも活動を広げていけるように頑張ります。応援よろしくお願いします！

■2009年
 6月 六稜祭
 8月 DANCE STUDIO 西日本大会 出場
 ハッスルどライブ 尼崎大会 出場
 11月 校内中庭で発表
 2010年2月 文化芸術祭 発表
 第5回高校生ダンスフェスタ 参加

園芸同好会
 休部から復活した園芸同好会は少ない先輩と多くの顧問の先生を巻き込んで始まったクラブだそうですが、現在は一年から三年生を合計すると、十数名に膨れ上がりました。みんな兼部ですが、それがこのクラブのいいところ。無理せず、来るときに来ることがこのクラブの魅力でしょうか。部員が勢ぞろいするのはワンシーズンに一回くらいの活動ですが、みんなで楽しく活動しています。ちなみに、園芸同好会のモットーは「一度来たら、園芸部員。」です。また、動場所である2階のテラスは眺め最高、植物との癒しの空間が広がっています。そんなところで活動しているので、気分転換には最高です。これからも、伝統となりつつある「おいもパーティ」などを続けていき、同好会から正式にクラブになるよう頑張っていきたいと思います。

フォークソング同好会
 ■2009年

フォークソング同好会は現在2年生4人、1年生2人の計6人で活動しています。今年は六稜祭でギターをメインにしたライブを披露しました。といっても披露したのは部長一人だけなんですけど…。また、今年度の六稜祭ではバンドによるライブ演奏にも参加しました。フォークソング同好会といっても、単にフォークだけでなく、ロックやパンク、メロコア、メタルなどとにかく音楽が好きなら誰でも入部可能です。活動は月～金の放課後、テニスコート横のセミナーハウス2階の部屋で行っています。先輩後輩の仲も良く、とてもアットホームな雰囲気です。活動しています。「北野高校には軽音楽部がない…」と思った方、ぜひ一度遊びにきてください！

数学研究同好会
 ■2009年

僕たちは数学検定合格のために活動してきました。しかし、日程が合わなかったり、部員が足りなかったり（仮入部多数）で受験することができませんでした。数研は3年生しかいなかったのも受けられないまま、何の実績もないまま卒業です。僕らの意志を受け継いでくれる人募集中です。文系理系は問いません。（ちなみに部長は文系です。）楽しくて数学に強くなれる数研に入れば北野の鬼のような数学も楽勝??かも♪

《運動部（50音順）》

陸上競技部
 今年も快調に走り続ける陸上部は、それぞれに目標を持ってがんばる部員の中、日々練習に邁進しています。毎年多くの選手が中央インターハイに出場し、近畿インターハイ進出者も出ています。いい雰囲気と流れの中で、これからの更なる飛躍を目指して切磋琢磨していきたく思います。部員、マネージャーともに随時募集中なので、興味のある人は、ぜひ見学に来てください！

■ 2009 年

インターハイ大阪大会

5000m (決勝 4 位 近畿大会出場)

4 × 100mR (決勝 2 位 近畿大会出場)

大阪総体

男子 100m (決勝 7 位)

400m (決勝 7 位)

5000m (決勝 4 位)

走幅跳 (決勝 7 位)

円盤投 (決勝 7 位)

4 × 100mR

(決勝 6 位 近畿大会出場)

女子 400m (決勝 5 位)

1500m (決勝 13 位)

やり投げ (決勝 12 位)

近畿ユース陸上選手権 4 × 100mR (準決勝進出)

大阪高校駅伝

男子 9 位

女子 10 位

陸上部ホームページ↓

http://www.rac-kitano.org/~gen_eki/

水泳部

現在、部員数 46 人で活動中です。今年も有望な 1 年生が入ってくれました。1 年 17 人、2 年 29 人で毎日、自己ベスト更新のためがんばっています。部の目標は、全員大阪大会 (中央大会) 出場です！初心者でも最終的には大勢が中央進出できます！熱い部員大歓迎！水泳で青春を満喫しよう！

■ 2009 年

・東大阪室内選手権 (4 月) 於：東大阪アリーナ

男子 200m フリーリレー 5 位

男子 200m メドレーリレー 5 位

女子 200m フリーリレー 9 位

女子 200m メドレーリレー 7 位

・大阪府選手権 (6 月) 於：なみはやドーム

女子 50m 平泳ぎ B 決勝 10 位

多数標準記録突破

・地区大会 (6 月) 於：桜宮高校プール

多数標準記録突破

・中央大会 (6 月) 於：なみはやドーム

22 名 (標準記録突破者) 出場

男子 50m 自由形 3 位

男子 400m フリーリレー 12 位

男子 400m メドレーリレー 15 位

男子 800m フリーリレー 17 位

女子 400m フリーリレー 24 位

女子 400m メドレーリレー 25 位

・近畿大会 (7 月) 於：京都アクアリーナ

男子 50m 自由形 5 位

・インターハイ (8 月) 於：なみはやドーム

男子 50m 自由形 全国 46 位 !!

・高校対校選手権 (8 月) 於：なみはやドーム

男子 50m 自由形 5 位

男子 50m 背泳ぎ 9 位

男子 400m フリーリレー 11 位

男子 400m メドレーリレー 14 位

女子 400m フリーリレー 18 位

女子 400m メドレーリレー 19 位

・北摂大会 (9 月) 於：東豊中千里青雲高校プール

男子 3 位

・新人大会 (9 月) 於：大阪プール

男子 200m フリーリレー 14 位

男子 200m メドレーリレー 15 位

女子 200m フリーリレー 21 位

女子 200m メドレーリレー 28 位

器械体操部

こんにちは、器械体操部です。3 年生男子 3 名、女子 4 名、2 年生男子 2 名、女子 1 名、1 年生男子 1 名、女子 4 名で活動しています。部員は初心者から経験者まで様々ですが、みんな意欲的で、OB・OG さん方や先生のご指導で日々上達に向けて練習することが出来ています。そのおかげで、全国的にハイレベルな大阪高校体操界で、毎年ベスト 8 の戦績を残しています。男女の仲、先輩後輩の仲もよい雰囲気、北野らしい存在感のある体操ができるように毎日厳しい練習に耐え、皆で楽しく頑張っています。今後とも、私たち器械体操部をよろしくお願いいたします。＜大会記録＞ (大阪ベスト 8 に入ったもののみ挙げました。)

■ 2009 年

5 月 大阪高校春季大会 男子 2 部

団体 3 位 (1 部技 4 技に次いで大阪 7 位)

9 月 大阪高校総合体育大会 女子 2 部

団体 3 位 (1 部技 4 技に次いで大阪 7 位)

柔道部

■ 2009 年

北地区学年別大会 (1 月 17 日)

3 人戦 1 年 北野 2 - 0 北淀

北野 0 - 3 英真

北野 1 - 1 金光大阪

第 27 回大村杯争奪高校柔道大会 大阪大学石橋 (3 月 21 日)

5 人戦 北野 5 - 0 大阪星光

北野 1 - 3 関西大倉

北野 1 - 4 八尾

第 58 回全国高校柔道大会大阪府予選 (男子団体) (6 月 13 日)

5 人戦 北野 2 - 3 東住吉

天高戦

5 人戦 点取り 北野 1 - 4 天王寺

抜き 北野二人残して負け

大阪市北地区大会 (11 月 1 日)

団体戦 5 人戦 北野 2 - 3 関大北陽

第 59 回大阪高校柔道新人大大会兼全国大会予選 (男子団体) (11 月 22 日)

一回戦 八尾 二人残して負け

剣道部

★ごあいさつ★

北野高校剣道部は 2010 年 1 月現在、1 年生男子 4 人・女子 2 人、2 年生男子 8 人・女子 3 人の合計 17 人で活動しています。先輩、後輩の上下関係はなく、楽しく時には厳しく練習に励んでいます。私たち剣道部の目標は、毎年行われる天王寺、大手前定期戦に勝ち、公式戦や練習試合、招待試合等で素晴らしい成績を残すことです。そこで夏には合宿もあり、一人ひとりがそれぞれの目標を持ち、技を磨くなど、日頃できない貴重な練習をしています。また、定期的に学校で行われている OB 会では、OB、OG、先輩方が来ら

れてとても為になる指導をしていただきます。部員全員、心から感謝しています。これからも私たち剣道部は日々精進して練習に励んでいくので、先輩方、そして OB や OG の方々、今後ともご指導、ご支援よろしくお願い致します。

★過去の戦歴★

■ 2009 年度 4 月～

インターハイ大阪予選

【団体】男子 1 回戦敗退

女子 2 回戦進出

大阪総合体育大会

【団体】男子 ベスト 16

【団体】女子 1 回戦敗退

天王寺高校 定期戦

男子 負け

女子 勝利

大手前高校 定期戦

男子 勝利

女子 負け

北摂大会

男子 2 回戦進出

女子 1 回戦敗退

合気道部

部員は現在 1 年 9 人、2 年 16 人で活動しています。北野高校合気道部は天之武産合気道々場に所属しており、時間に余裕のあるものは放課後に道場での練習に参加させていただいています。また、今年是指導員の先生に週に 1 回武器・体術等をご指導していただいています。他校の合気道部との交流もあり、今年は大前高校、春日丘高校、北千里高校との合同練習も行いました。他に、毎年 12 月に洗心館での演武大会で演武を披露させていただいています。現在、1 年生は 6 月の六稜祭で発表する演武に向けて、2 年生は昇段試験に向けて、日々稽古に励んでいます。

硬式野球部

＜部員構成＞

部員：2 年生 22 人 1 年生 18 人

マネージャー：2 年生 1 人 1 年生 2 人

硬式野球部は甲子園を目指して練習を頑張っています。部員数は多いですが、互いに励まし合い、時には良いライバルとして切磋琢磨し合い、日々努力を重ねています。応援して下さる皆様の御期待に応えられるように、また、僕たちが野球をしている姿を 1 日でも長くお見せできるよう、43 人全員で、これからの練習に、全力で臨んでいきたいと思っています。これからも引き続き、暖かいご支援・ご声援を宜しくお願いします。

■ 2009 年

＜秋季大会＞

1 回戦 VS 初芝立命館 2 × 0

2 回戦 VS 開明 16 × 0

3 回戦 VS 守口東 5 × 4

4 回戦 VS 箕面東 0 - 3 ベスト 32

旧 1・2 学区公立校大会 優勝

決勝 VS 桜塚 4 - 3

三校戦 優勝

北野一市岡 ○

北野一八尾 ○

サッカー部

現在、サッカー部は、2年生13人、1年生17人、マネージャー2人の計32人で活動しています。近年、成し遂げられていない大阪ベスト16を目指して、日々の練習にみんなで一生懸命取り組んでいます。応援がチームの大きな力になりますので、これからも応援をよろしくお願いします。

■2009年度

<新人戦>

1回戦 枚方津田○ 3-0

2回戦 関西大倉× 1-4

<春季大会>

1回戦 島本○ 9-0

2回戦 箕面× 1-2

<定期戦>

天王寺× 2-3

<秋季大会>

1回戦 明星× 1-3

ラグビー部

現在、ラグビー部は2年生4人、1年生1人の計5人で活動しています。部員不足のため、今年度からは秋季大会も合同チームという形で出場することになりました。また、合同チームの都合のため、今年度は定期戦も行うことができませんでした。しかし、合同では練習試合が多く行えることや、レギュラー争いが生じることなど、メリットもあります。来年度は、定期戦を復活させ、また、新入部員をたくさん迎え、数年後には単独チームに戻れるようにしていきたいです。OB・保護者の皆様の期待に応えられるようにこれからもがんばっていくので、これからも応援よろしくお願いします。

■2009年

<春季大会> (摂津と合同)

4/21 不戦勝 高津

4/27 0-50× 淀川工科高校

5/3 19-12○ 旭・西野田工・大手前

<秋季大会> (春日丘、茨木西、福井、北摂つばさ、能勢と合同)

9/20 7-12× 早稲田摂陵

<新人戦> (春日丘、茨木西、北摂つばさ、能勢、北淀川と合同)

1/17 39-0○ 清教学園

1/25 0-59× 都島工業

男子バレーボール部

現在、男子バレーボール部は2年生7人、1年生8人、マネージャー1人の計17人で活動しています。1人1人が目標を持って、どうすればうまくなるかを考えながら練習に励んでいます。練習時間が限られていますが、その分集中して練習しています。近畿大会出場を目標に頑張っていくので応援よろしくお願いします。

■2009年

春高予選

●0-2 堺市立工業

西田杯

●0-2 関西第一高校

●1-2 桜塚

春の部別

○2-0 天王寺

○2-1 大阪学院大学

○2-0 門真なみはや

豊能大会予選

●0-2 豊中

○2-0 渋谷

豊能大会本選

●0-2 池田

インターハイ予選

●0-2 寝屋川

天高戦

○1-0 天王寺

総体

○2-1 池田北

○2-1 吹田東

●0-2 関大北陽

府立高大会予選

○2-0 高槻北

○2-0 千里青雲

○2-0 西野田工科

府立高大会決勝トーナメント

○2-0 城東工科

●0-2 市立堺

大阪新人高校大会 (部別)

●0-2 近畿大附属

●0-2 太成学院大学

男子バスケットボール部

男子バスケットボール部は、2年11人、1年12人、マネージャー3人の26人で活動しています。月・金は筋トレや走りこみ、火・木、土日は体育館で練習しています。全員仲が良く、とても楽しい雰囲気の中で練習にも前向きに取り組んでいます！今は春のインターハイ予選に向けて全員で頑張っています(^ω^)

■2010年

1月 大阪北地区新人戦大会

1回戦：○北野 85-74 関西大第一

2回戦：×北野 43-98 大阪学院

2回戦敗退

■2009年

4月-5月 インターハイ予選

1回戦：○北野 87-60 阪南

2回戦：○北野 90-48 門真なみはや

3回戦：×北野 74-92 花園

3回戦敗退

8月-9月 大阪総体予選

1回戦：○北野 79-66 北淀

2回戦：×北野 56-96 同志社香里

2回戦敗退

10月-11月 公立高校大会

VS 福井 74-61 北野×

VS 柴島 89-94 北野○

VS 桜塚 75-83 北野○

VS 高槻北 67-69 北野○

VS 吹田 78-76 北野×

3勝2敗

男子ハンドボール部

僕たち男子ハンドボール部は指導者のいない中、現在2年生11人・1年生8人の計19人で活動しています。指導者のいない中、OBさんに練習を見てもらいながら日々、キャプテンを中心に一生懸命練習に励んでいます。近畿大会出場を果たすなど、輝かしい成績を納められました昨年度の先輩方にはまだまだ及びませんが、中央大会出場を目標として頑張っています。

■2009年

・春季大会

(北地区大会)

(地区シードのためブロック大会免除)

○北野 19-6 千里●

●北野 19-20 千里星雲○

(三位決定戦)

○北野 23-11 北千里●

(中央大会)

○北野 21-17 清風●

●北野 17-22 大体大浪商○

(5、6位決定戦)

○北野 22-19 北陽●

○北野 20-12 千里星雲●

☆大阪府5位で近畿大会出場

・近畿大会

○北野 22-20 彦根翔陽●

●北野 17-27 田辺○

・秋季大会

●北野 19-21 箕面○

新人大会

○北野 31-5 大阪学院●

●北野 20-26 北千里○

女子ハンドボール部

こんにちは！女子ハンドボール部です？私たちは現在2年生9人、1年生20人の計29人で、月～土曜日にハンドコートで活動しています。OBさんの指導のもと、中央大会、近畿大会を目指し、夏の暑さにも負けず、冬の寒さにも負けず、元気いっぱい声を出して練習に励んでいます！女ハンに入れば青春を満喫すること間違いなし！！これからも私たち女ハンをよろしくお願いします☆

■2009年度

・春季 インターハイ予選大会

ブロックリーグ

○20-5 大阪成蹊女子

○17-16 金蘭会

ブロックトーナメント

○12-6 刀根山

●6-13 箕面

●8-22 千里青雲 (3位決定戦)

北地区4位 中央大会出場★★

・中央大会一回戦

●15-16 八尾

・秋季大会

ブロックリーグ

○15-2 関西大学北陽

●4-11 北千里

・新人大会

ブロックリーグ

○13-5 東淀川

○16-3 桜塚

○10-9 茨木

●6-7 箕面

男子テニス部

男子テニス部は現在2年6人、マネージャー0人、1年9人の計15人でほぼ毎日活動しています。OBのみなさんからのボールやガット張り機は感謝して使わせていただいています。部活では全学年一丸となって頑張っています。これからも男子テニス部をよろしくお願いします。

■2009年

5月

○春季大阪総体
団体戦 ベスト4
あと一勝でインターハイでした
6月
○春季赤坂杯
優勝
7～8月
○大阪府公立団体 準優勝
近畿公立高校大会出場
○夏季大阪総体
シングルス 4人本戦出場
ダブルス ベスト16、32
○ジュニア池村杯
シングルス 本戦出場(2人)
ダブルス 本戦出場
9～10月
○秋季団体1部 本戦出場
10～11月
○秋季赤坂杯
シングルス 優勝 3位 ベスト8
16(2人) 32(1人)
ダブルス 優勝、3位
12月～1月
○ジュニア田村杯
シングルス 本戦出場
ダブルス 本戦出場3組
1月
○近畿公立高校大会 5位

卓球部

卓球部は現在2年生6人、1年生8人で活動しています。練習は火曜日と木曜日と日曜日は体育館、月曜日と水曜日と金曜日はセミナーハウスを借りて練習しています。部員全員が上を目指して真剣に練習に励んでいます。OBの方々もちょくちょく練習を見に来てくれるので、レベルの高い練習をする事が出来ます。初心者の方も最後には経験者より強くなっている人もいますので初心者の方も大歓迎です。もちろん経験者の方も歓迎します。現在、男子だけで活動していますが女子の方も募集しています。興味があればぜひ卓球部へ！！

■2009年
大阪64ブロック大会(5/3)
男子シングルス 4回戦敗退
春季大阪高校選手権大会
男子シングルス(5/4) 3回戦敗退
男子団体(5/5)
1回戦 不戦勝
2回戦 北野3-2長尾
3回戦 北野1-3桃山学院
男子ダブルス(5/6) 2回戦敗退
全日本ジュニア予選(8/1)
シングルス(8/1) 4回戦敗退
大阪高等学校新人卓球大会
男子団体(8/18)
1回戦 不戦勝
2回戦 北野0-3星翔
男子シングルス(8/10) 2回戦敗退
男子ダブルス(8/23) 4回戦敗退
大阪高校総体
男子団体1次トーナメントベスト16
1回戦 北野3-2久米田
2回戦 北野3-1早稲田摂陵
3回戦 北野1-3泉北
チャレンジカップ(11/3)
2位トーナメント ベスト4

1回戦 北野2-1豊島
2回戦 北野2-1茨木工
3回戦 北野0-2大阪朝高
オープンダブルス(1/11)
1位トーナメント 1回戦敗退
2位トーナメント 3回戦敗退
3位トーナメント ベスト4
全国選抜シングルス予選(1/17)
2回戦敗退

女子バレーボール部

私たちは顧問の先生の熱心で厳しい指導のもと、人数が少ないので大変ですが、高い目標に向かって日々練習に励んでいます！少ない時間を大切にして、全力でバレーを楽しみたいと思います！今後とも応援よろしくお願いします。

部員
2年生7人、1年生8人
マネージャー0人(募集中！)
練習日程
月、火、木→体育館
金→球技場
水→OFF
土、日→体育館 or 練習試合

■2009年
インターハイ1次予選
●2-0常翔学園
●2-0今宮
●2-0商大堺
インターハイ2次予選
○2-0農芸
●2-0堺上
大阪総合大会
○2-0三島
○2-0北千里
●2-0好文学園女子
公立高校大会予選
○2-0茨木
○2-0槻の木
●2-0阿武野
公立高校大会2日目
●2-0金岡
新人大会春高1次予選
○2-0付天王寺
○2-0清朋
○2-1四条畷
4部優勝3部昇格！
春高2次予選
●2-0好文学園女子

女子バスケットボール部

こんにちは！(^^) 女子バスケットボール部です。女子バスケットボール部は2年生5人、1年生7人、マネージャー2人の計14人で活動しています。月曜日と金曜日は体育館が使えませんが、それ以外の日には体育館で練習できます。朝授業が始まる前や、昼休みには自由に体育館で練習ができます。毎日コーチが来てくださり、とても熱心に指導して下さいます。夏には合宿もあります！

■2009年
大阪総体地区予選
1回戦 ○64-40大手前
2回戦 ○72-45金岡
3回戦 ●54-66四條畷
北地区公立校大会
1回戦 ○96-58園芸

2回戦 ●31-102千里
3回戦 ○89-24刀根山
4回戦 ○70-29槻の木
新人大会北地区
1回戦 ○73-24吹田
2回戦 ●54-58山田

女子テニス部

現在、2年生8人・1年生9人・マネージャー1人の合計18人で 毎日楽しく、元気いっぱい活動しています。厳しいときは、厳しく！楽しむ時は楽しむ！みんなで声を掛け合いながら ボールを追い続けることはまさに青春です！♪エースエースエースエースをねえ～♪今年もOB・OGさんから練習球やテニス用品をいただきました。本当にありがとうございます。これからも毎日がんばりますので応援よろしくお願いします！

■2009年
☆春季総体 本戦出場
ダブルス2組
シングルス3人
☆春季団体 ベスト32
☆春季赤坂杯(単) 本戦出場
2人(1人ベスト8)
☆夏季総体 本戦出場
ダブルス3組(1組ベスト32)
シングルス2人
☆池村杯(単) 本戦出場2人
☆秋季赤坂杯 本戦出場
ダブルス5組(1組準優勝、1組3位)
シングルス7人(1人ベスト8)
☆田村杯(単) 本戦出場2人

バドミントン部

バドミントン部は現在、2年生11人+1年生14人で練習しています。月～水の朝練・火、木、金の昼練に加え、2004年9月からは遂に放課後体育館での練習も始まり、部員一同 常に上のレベルを目指しています。土日はコーチに来てもらって、技術の向上に励んでいます。また、たくさんのOB・OGの方々が練習に参加して下さいます。今後とも、僕達バドミントン部をよろしくお願いします！！

■2009年
秋季豊能地区大会
[男子シングルス初級の部]
2位、3位
[男子ダブルスの部]
1位、2位、3位
[女子ダブルス初級の部]
1位
第64回大阪高等学校夏季バドミントン選手権大会
[男子ダブルスⅡ部] ベスト32
[男子シングルスⅡ部] ベスト16
[女子シングルスⅡ部] 5回戦進出
第63回大阪高等学校春季バドミントン選手権大会
[男子ダブルスⅠ部] ベスト16
[男子シングルスⅡ部] ベスト16
[女子シングルスⅡ部] 6回戦進出

おくやみ

河原剛先生(英語科\$27~60)が平成22年1月14日、ご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

六稜短信

2009年4月以降、2010年1月までにご連絡いただきました方々を掲載させていただいております。

37期	緒方 裁吉	2009年9月19日
45期	那須 専一	2009年9月24日
45期	森繁 久彌	2009年11月10日
47期	羽生 敦	2009年7月10日
49期	三枝幸次郎	2009年6月17日
49期	中島 桑男	2009年6月23日
49期	東川 一郎	2009年10月6日
56期	加藤 尚也	2009年4月11日
57期	塩飽 隆明	2009年4月11日
58期	金沢 龍雄	2009年10月16日
58期	大神 和男	2009年11月19日
59期	吉村 靖夫	2009年6月25日
60期	和田 利夫	2009年7月
60期	市川 健二	2009年8月27日
60期	萩谷 修	2009年8月30日
60期	堀田 幸和	2009年10月7日
61期	仙波 隼夫	2009年8月10日
62期	中田淳治郎	2009年8月11日
62期	濱本 豊克	2009年8月16日

63期	久田 昌司	2009年6月6日
63期	大西 利夫	2009年6月7日
63期	北村 幸衛	2009年9月14日
64期	清瀬 泰一	2009年9月25日
64期	小松原啓子	2009年11月5日
65期	富岡三津子	2009年8月12日
66期	横山 民子	2009年9月7日
66期	野沢 道夫	2009年12月10日
67期	松本 忠雄	2009年8月14日
69期	黒川 高秀	2009年12月12日
70期	前田 尚子	2009年6月20日
71期	久保 良三	2009年8月6日
74期	小嶋 敏孝	2009年10月8日
75期	金井 邦彦	2010年1月5日
77期	和田 均	2009年6月22日
82期	永野 隆幸	2009年4月10日
82期	中島 努	2009年9月15日
84期	島田 誠史	2009年5月19日
85期	川上 均	2009年9月28日
100期	山本 興	2009年5月13日

ご卒業期順、および、ご逝去日順に掲載しております。
謹んでお知らせいたします（敬称略）。



ホームページ 六稜Webリニューアル

1997年9月23日に開局した六稜Webですが、この度、12年間ご愛顧いただきましたビジュアル面を全面的にリニューアルして生まれ変わります。

なお、新サイトでは、従来のコンテンツの総てを継承しつつも、より参加（投稿）しやすい「ブログ」likeなシステムを搭載します。まずは常任理事・学年理事の同



窓会役員の皆様にアカウントを発行し、模範的にご利用いただきます。同時に、クラブOB/OG会にもアカウントを発行しますので、公式戦の予定や集会の告知などに率先してご利用ください。また、全体のキャパシティ（費用対効果）を勘案しながら、ご希望される個人（卒業生に限る）にも、アカウントを順次発行して参りたいと思いますので、お問い合わせください。

表紙解説

前号に続き今号は「修学旅行」特集（後編）。現地の移動の多くはバスで賄われるが、定員がクラス単位の行動を可能にするからであろう。写真

中段は76期、航路による北九州（1963年）。おそらく最終日の光景だとは思うが（笑）、車中には疲労感が漂う。

いっぽう写真下段は117期、空路による北海道（2003年）。道中の長い閉空間を級友と過ごすのも楽しい旅

路だが、移動時間の短縮が現地での謳歌を倍増させるのも事実。あなたはどちら派？



六稜同窓会137周年総会

開催のご案内

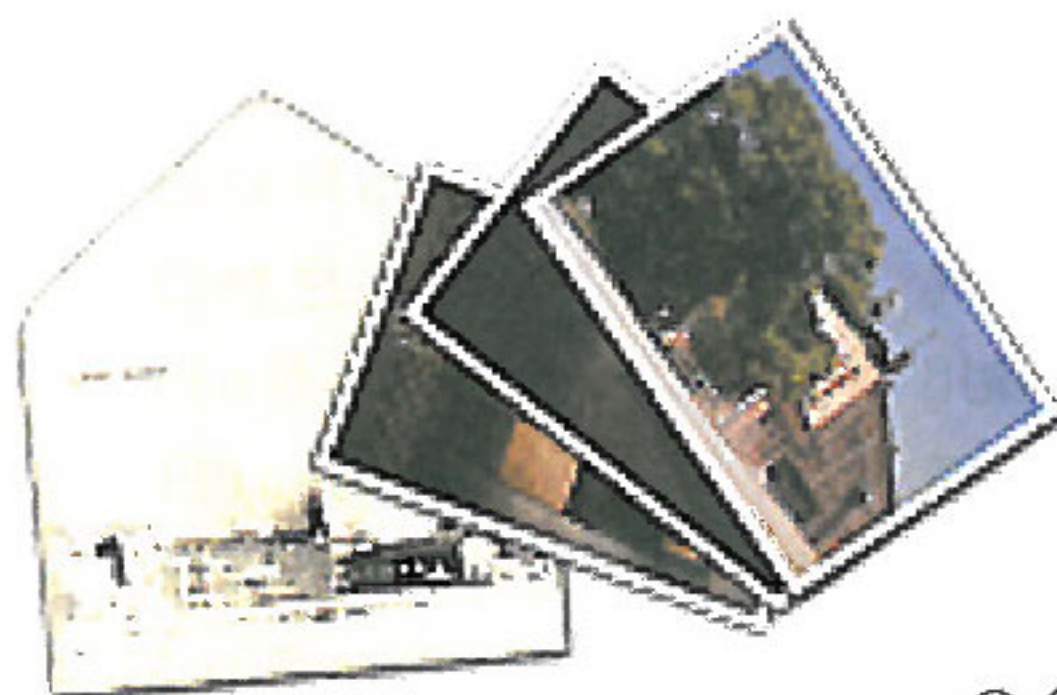
日時：2010年10月31日(日)13時から

場所：北野高校 多目的ホール・六稜会館

六稜グッズ



◎Tシャツ
Mサイズ…800円[TSM]
Lサイズ…800円[TSL]
LLサイズ…800円[TSLL]
(※2枚で1,500円)



◎絵はがき
ラストショット…500円[LST]



◎金属製「栞」
…300円[BMK]
(※郵送の場合は3枚以上をお願いします)



◎昭和校舎 外壁タイル
…5,000円[STL]



◎絵はがき
校内スケッチ…500円[PSS]



◎学校紹介DVD
「六稜魂」…2,000円[PRD]



◎ハンカチ Sサイズ…300円[HDKS]
Mサイズ…400円[HDKM]
(※郵送の場合は3枚以上をお願いします)

◎書籍『北野130年史』(B5判)
…2,000円[130]

◎書籍『われら六稜人』シリーズ(A5判)
1998年…1,500円[W98]
1999年…1,500円[W99]
2000年…1,500円[W00]
2001年…1,500円[W01]
上記4巻セット…4,000円[W4S]

◎同窓会名簿
2008年版…5,000円[R08]



同窓会事務局にて取り扱っています。
お申し込みは[太字]の記号で。
詳しくはお問い合わせください。

お詫びと訂正

会報53号P7 東京六稜会記事中の若手代表尾上琢允生さん(112期)は尾上玲円奈(111期)さんでした。
お詫び申し上げますと共に訂正させていただきます。

六稜会報
No.54

広報委員会 壽榮松正信(74期)
作山 倫子(88期)
安井 昌子(88期)
尾辻かおる(90期)
出口 学(94期)
松田 典子(95期)
谷 卓司(98期)
中嶋 明子(106期)
北野 美穂(113期)
尾崎 有紀(113期)
久保 慶護(117期)

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025大阪市淀川区新北野2-5-13府立北野高校内
tel.06-6306-0374 fax.06-6306-1335
email.office@rikuryo.or.jp
事務局◎月・水・金(祝日は休)10:00~17:00

印刷 株式会社ひかり工房
〒556-0002大阪市浪速区恵美須東1-10-2
tel.06-6641-6011 fax.06-6641-6012

発行日 2010年3月1日
発行者 山本雅弘(71期)
委員長 千種康一(88期)